

(案)

# 富士宮市消防団組織再編個別計画



富士宮市  
令和 年 月

## 目 次

<b>I 計画の策定にあたり</b>	
1 はじめに	1
<b>II 消防団本部</b>	
1 現状と課題	6
2 今後の再編方針	6
<b>III 第1方面隊 (P8からP16まで)</b>	
1 現状と課題	13
2 個別評価	14
3 今後の再編方針	15
4 再編後の組織イメージ	16
<b>IV 第2方面隊 (P17からP30まで)</b>	
1 現状と課題	24
2 個別評価	25
3 今後の再編方針	27
4 再編後の組織イメージ	30
<b>V 第3方面隊 (P31からP41まで)</b>	
1 現状と課題	37
2 個別評価	38

3	今後の再編方針	40
4	再編後の組織イメージ	41
<b>VI 第4方面隊（P42からP51まで）</b>		
1	現状と課題	47
2	個別評価	48
3	今後の再編方針	49
4	再編後の組織イメージ	51
<b>VII 第5方面隊（P52からP62まで）</b>		
1	現状と課題	59
2	個別評価	60
3	今後の再編方針	61
4	再編後の組織イメージ	62
<b>VIII 第6方面隊（P63からP72まで）</b>		
1	現状と課題	68
2	個別評価	69
3	今後の再編方針	70
4	再編後の組織イメージ	72
<b>IX 定年について（P73からP74まで）</b>		
1	現状と課題	73
2	今後の方針	73

## X 新たな消防団員確保対策（P75 から P76 まで）

1 現状と課題	75
2 今後の具体的施策	75

### ◎資料一覧

・図1 富士宮市消防団詰所配置図	2
・図2 富士宮市中学校通学区一覧	3
・図3 富士宮市小学校通学区一覧	4
・図4 今後5年間の潜在団員数（富士宮市全域）	5
・図5 消防団本部組織図	7
・図6 第1方面隊分団詰所配置図	8
・図7 第1方面隊分団詰所一覧	9
・図8 第1方面隊 分団管轄人口推移	11
・図9 第1方面隊 今後5年間の潜在団員数	12
・図10 第2方面隊分団詰所配置図	17
・図11 第2方面隊分団詰所一覧	18
・図12 第2方面隊 分団管轄人口推移	21
・図13 第2方面隊 今後5年間の潜在団員数	22
・図14 第3方面隊分団詰所配置図	31
・図15 第3方面隊分団詰所一覧	32

・ 図 16 第 3 方面隊 分団管轄人口推移	34
・ 図 17 第 3 方面隊 今後 5 年間の潜在団員数	35
・ 図 18 第 4 方面隊分団詰所配置図	42
・ 図 19 第 4 方面隊分団詰所一覧	43
・ 図 20 第 4 方面隊 分団管轄人口推移	45
・ 図 21 第 4 方面隊 今後 5 年間の潜在団員数	46
・ 図 22 第 5 方面隊分団詰所配置図	52
・ 図 23 第 5 方面隊分団詰所一覧	53
・ 図 24 第 5 方面隊 分団管轄人口推移	57
・ 図 25 第 5 方面隊 今後 5 年間の潜在団員数	58
・ 図 26 第 6 方面隊分団詰所配置図	63
・ 図 27 第 6 方面隊分団詰所一覧	64
・ 図 28 第 6 方面隊 分団管轄人口推移	66
・ 図 29 第 6 方面隊 今後 5 年間の潜在団員数	67
・ 図 30 静岡県内 35 消防団の定年制度の状況	74
・ 図 31 再編後の組織イメージ (全体)	77
・ 図 32 富士宮市消防団方面隊および分団の名称並びに管轄区域 (再編後)	78

## I 計画の策定にあたり

### 1 はじめに

---

本計画は、「富士宮市消防団組織再編基本計画」に基づき、個別具体的な再編計画を策定するものです。ここで策定した個別計画を実現するために、適時適切に自治会への説明、必要に応じて条例改正等を行っていくものとします。

また、国の動向や社会環境の変化に応じて柔軟に計画を変更するものとします。

個別計画の策定にあたっては、基本計画の内容に沿い、各分団の現状の団員数はもちろんのこと、人口なども考慮し、様々な視点から考察しました。ただし、単に人口が少ないという理由だけで統廃合を考えるのではなく、ワーキンググループでの会議を通して各分団からの意見を聴取し、構造的に消防団員を加入しやすい仕組みが構築されているなど、地域の実情も十分に配慮した上で策定作業を進めてきました。

統合案については、詰所の位置などの地理的条件、学校区なども十分に考慮し検討しています。

また、本計画の策定にあたっては、方面隊単位を基本としていますが、一部、方面隊を超えた枠組みでの統廃合も考慮しています。

なお、本計画の中で、組織再編と並行して定年制度についての方向性や今後の新たな団員確保施策についても検討しています。

図1 富士宮市消防団詰所配置図

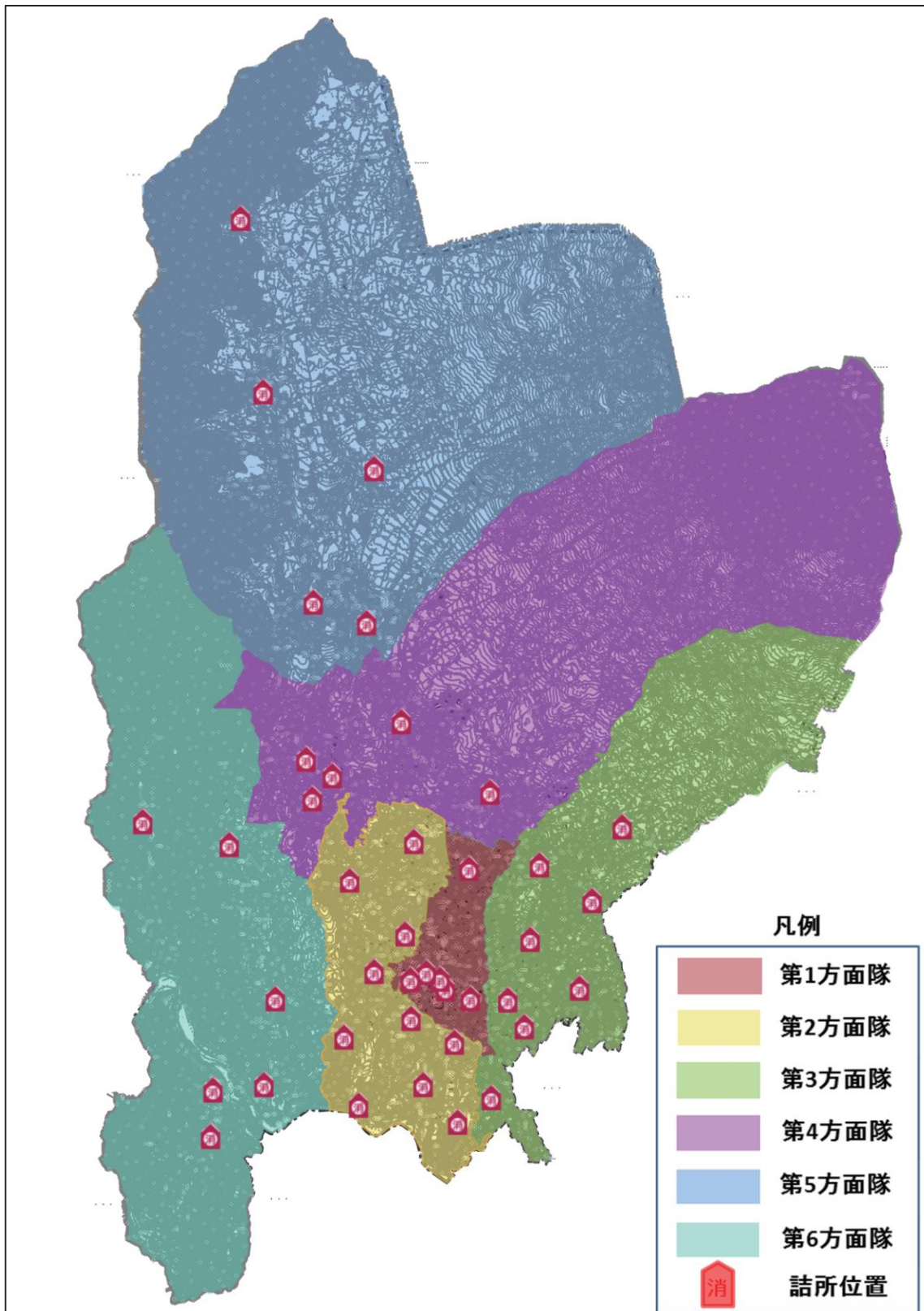


図2 富士宮市中学校通学区一覧

学校名	通学区域
富士宮第一中学校	阿幸地区 富士見ヶ丘区 日の出区 瑞穂区 咲花区 大和区 源道寺区 田中区 黒田区 山本区 高原区 高原1区 貫戸区 星山1区 小泉6区
富士宮第二中学校	木の花区 城山区 ひばりが丘区 常磐区 神田区 浅間区 高嶺区 宮本区 二の宮区 琴平区 三園平区 万野1区(4町内)
富士宮第三中学校	福地区 神賀区 神立区 貴船区 松山区 羽衣区 野中1区 野中2区 野中3区 野中4区 安居山1区 安居山2区 沼久保区 神田川区 星山2区 大中里区(4町内 (新堀用水以南及び以東並びに市道大中里26号線以東)、5町内(新堀用水以南)及び 9町内)
富士宮第四中学校	淀師区 淀橋区 青木区 外神区 大中里区(4町内(新堀用水以南及び以東並びに 市道大中里26号線以東)、5町内(新堀用水以南)及び9町内を除く。) 宮原区(県道朝 霧富士宮線以西) 青木平区 外神東町(市道栗倉外神線以南及び市道押出長穴線以東を除く。)
富士根南中学校	小泉1区 小泉2区 小泉3区 小泉4区 小泉5区 上小泉区 大岩1区 大岩2区 大岩3区 杉田1区 杉田2区 杉田3区 杉田4区 杉田5区 杉田6区 村山3区(1町内)
富士根北中学校	栗倉1区(2町内2班(佐久間送電線以南)を除く。) 栗倉2区 栗倉3区 栗倉4区 栗倉南区 村山1区 村山2区 村山3区(2町内及び3町内) 舟久保区 山宮1区(2町内5班) 山宮2区(1町内4班)
北山中学校	北山1区 北山2区 北山3区 北山4区(1町内1班を除く。) 山宮1区(2町内5班を除く。) 山宮2区(1町内4班及び佐久間送電線以南を除く。) 山宮3区 山宮4区(佐久間送電線以南を除く。)
西富士中学校	上井出区 芝山区 人穴区 内野区 原区 半野区 狩宿区 北山4区(1町内1班)
井之頭中学校	猪之頭区 麓区 根原区 富士丘区
上野中学校	馬見塚区 上条上区 上条下区 下条上区 下条下区 精進川上区 精進川下区
大富士中学校	万野1区(4町内を除く。) 万野2区 万野3区 万野4区 万野希望区 宮原区(県道朝霧富士宮線以西を除く。) 宮原1区 山宮2区(佐久間送電線以南) 山宮4区(佐久間送電線以南) 栗倉1区(2町内2班(佐久間送電線以南)) 外神東町(市 道栗倉外神線以南及び市道押出長穴線以東)
芝川中学校	西山区(市道西山1143号線以北を除く。) 大久保区 長貫区 上羽鮎区 下羽鮎区 稗久保区 香葉台区 内房第1区 内房第2区 内房第3区 内房第4区 上稲子区 下稲子区
柚野中学校	大鹿窪区 猫沢区 明光台区 上柚野区 下柚野区 鳥並区 西山区(市道西山1143号線以北)

富士宮市小中学校の通学区域を定める規則 別表第2より抜粋

図3 富士宮市小学校通学区一覧

学校名	通学区
東小学校	阿幸地区(4町内を除く。) 咲花区 大和区 日の出区 瑞穂区 田中区(3町内2班及び3班並びに4町内3班から9班までを除く。) 源道寺区 小泉6区
黒田小学校	黒田区 星山1区 星山2区 貫戸区 山本区 高原区 高原1区 高原2区 野中2区 野中3区 野中4区 田中区(3町内2班及び3班並びに4町内3班から9班まで)
大宮小学校	常磐区 浅間区 神田区 神田川区 木の花区 城山区 高嶺区 宮本区 二の宮区 琴平区
貴船小学校	神立区 松山区 羽衣区 貴船区 神賀区 福地区 野中1区 淀橋区(穂波町を除く。) 大中里区(4町内2班及び5班(新堀用水以南及び以東)、8班、11班から15班まで、18班及び20班、5町内(新堀用水以南)、8町内並びに9町内を除く。)
富丘小学校	宮原区(県道朝霧富士宮線以西) 外神区 青木区 淀師区 淀橋区(穂波町) 大中里区(8町内) 青木平区
西小学校	安居山1区 安居山2区 沼久保区 大中里区(4町内2班及び5班(新堀用水以南及び以東)、8班、11班から15班まで、18班及び20班、5町内(新堀用水以南)並びに9町内)
大富士小学校	万野1区(4町内を除く。) 万野2区 万野3区 万野4区 万野希望区 宮原区(県道朝霧富士宮線以西を除く。) 宮原1区 山宮2区(佐久間送電線以南) 山宮4区(佐久間送電線以南) 粟倉1区(2町内2班(佐久間送電線以南)) 外神東町(市道粟倉外神線以南及び市道押出長穴線以東)
富士根南小学校	小泉1区 小泉2区 小泉3区 小泉4区 小泉5区 上小泉区 杉田1区 杉田2区 杉田3区 杉田4区 杉田5区 杉田6区 大岩1区 大岩2区 村山3区(1町内)
富士根北小学校	粟倉1区(2町内2班(佐久間送電線以南)を除く。) 粟倉2区 粟倉4区 粟倉南区 舟久保区 村山1区 村山2区 村山3区(2町内及び3町内)
富士根北小学校粟倉分校	粟倉3区 山宮1区(2町内5班) 山宮2区(1町内4班)
山宮小学校	山宮1区(2町内5班を除く。) 山宮2区(1町内4班及び佐久間送電線以南を除く。) 山宮3区 山宮4区(佐久間送電線以南を除く。)
北山小学校	北山1区 北山2区 北山3区 北山4区(1町内1班を除く。)
上井出小学校	上井出区 芝山区 北山4区(1町内1班)
人穴小学校	人穴区
井之頭小学校	猪之頭区 麓区 富士丘区 根原区
井之頭小学校根原分校	平成19年4月1日から休校
白糸小学校	内野区 狩宿区 半野区 原区
上野小学校	馬見塚区 上条上区 上条下区 下条上区 下条下区 精進川上区 精進川下区
富士見小学校	阿幸地区(4町内) 富士見ヶ丘区 三園平区 ひばりが丘区 万野1区(4町内) 大岩3区
芝富小学校	西山区(市道西山1143号線以北を除く。) 大久保区 長貫区 上羽鮎区 下羽鮎区 稗久保区 香葉台区
内房小学校	内房第1区 内房第2区 内房第3区 内房第4区
柚野小学校	大鹿窪区 猫沢区 明光台区 上柚野区 下柚野区 鳥並区 西山区(市道西山1143号線以北)
稲子小学校	上稲子区 下稲子区

富士宮市小中学校の通学区域を定める規則 別表第1より抜粋

図4 今後5年間の潜在団員数（富士宮市全域）

令和7年4月1日時点

富士宮市全域			
年齢	男	女	計
全	62,849	63,499	126,348
13	566	584	1,150
14	600	562	1,162
15	630	592	1,222
16	603	595	1,198
17	668	613	1,281
18	606	590	1,196
19	589	546	1,135
20	580	557	1,137
21	656	564	1,220
22	685	575	1,260
23	710	542	1,252
24	673	542	1,215
25	661	513	1,174
26	688	561	1,249
27	627	533	1,160
28	624	488	1,112
29	644	536	1,180
30	637	487	1,124
31	642	499	1,141
32	629	446	1,075
33	614	494	1,108
34	627	533	1,160
35	585	551	1,136
36	708	631	1,339
37	710	608	1,318
計	15,962	13,742	29,704
<b>潜在 %</b>	<b>25.40</b>	<b>21.64</b>	<b>23.50</b>

## Ⅱ 消防団本部

### 1 現状と課題

令和7年4月1日現在、団長以下39人の団員で活動しています。女性消防団員の割合については、国の示す令和8年度末までに5%、最終的に10%という目標に対して著しく低い水準となっています。また、県内全消防団の平均値と比較しても低い水準となっています。

### 2 今後の再編方針

富士宮市消防団組織再編基本計画の28頁にもあるように、本部機能の強化を図っていきます。

次頁「図5 消防団本部組織図」で示すとおり、消防団本部は、団長、副団長及び庶務部、指導部、警防部、救急部、方面隊長で組織されており、団長は、消防団の事務を総括し、団員を指揮監督する役割等を担っております。

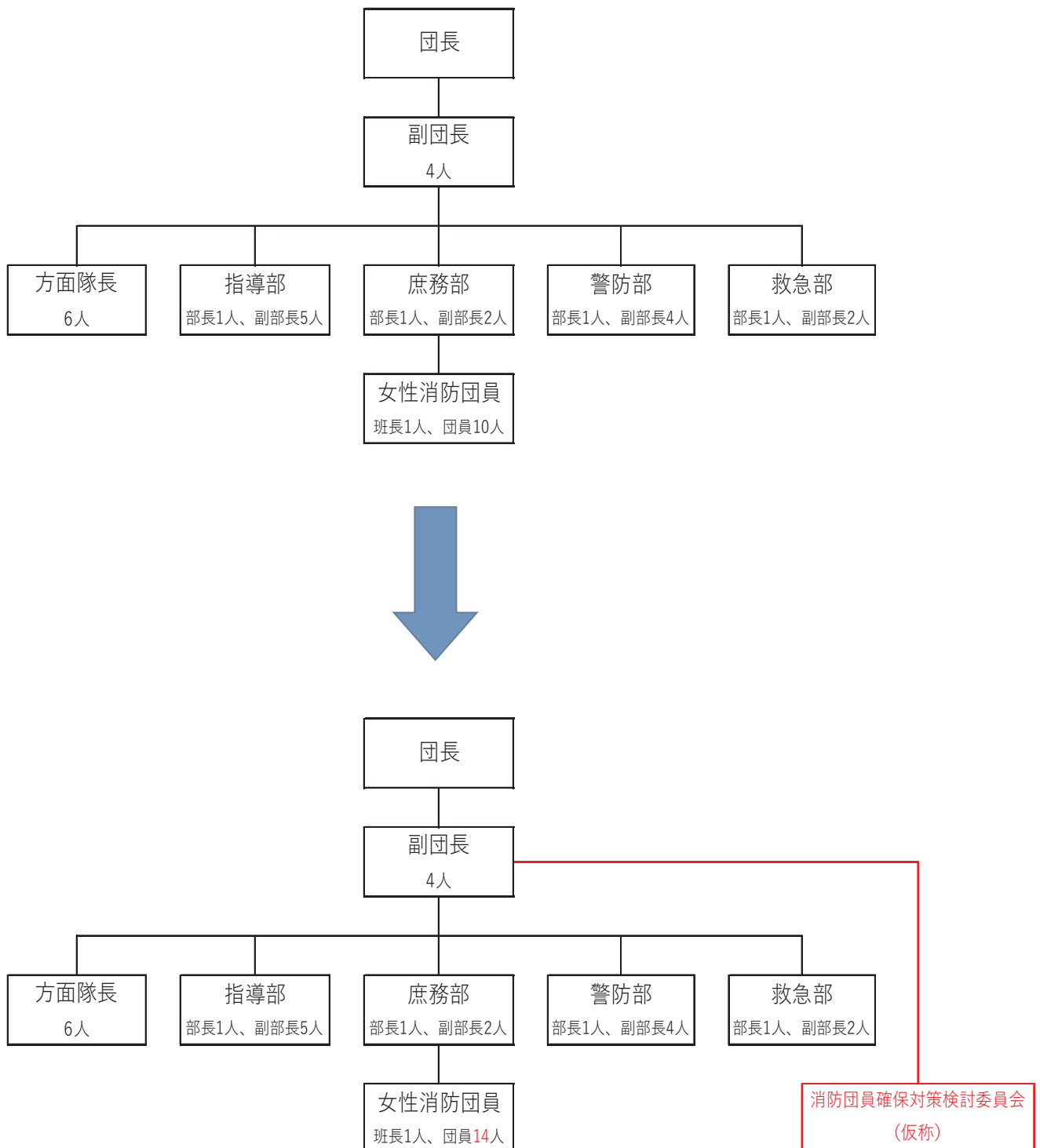
複数の分団において連携した円滑な消防団活動を行うために、本部の権限や責任等を明確にしながら、機能の強化を進めてまいります。

特に、厳しい状況が続いている団員確保については、団本部も一層関与しながら、多角的視点のもと、団本部と各分団が一体となって進めていく必要があります。このことから、副団長を委員長とした「消防団員確保対策検討委員会（仮称）」を新たに創設し、団員確保の強化を図ります。

また、女性消防団員については、将来的な女性分団の創設を目指し、基本分団と同程度の15人体制とし、火災予防広報や救急講習の更なる強化を図ります。また、各分団への配置も検討してまいります。

以上のことから、「図5 消防団本部組織図」で示すとおり、消防団員確保対策検討委員会（仮称）の創設と女性消防団員4人の増員を図ってまいります。

図5 消防団本部組織図



Ⅲ 第1方面隊

図6 第1方面隊分団詰所配置図

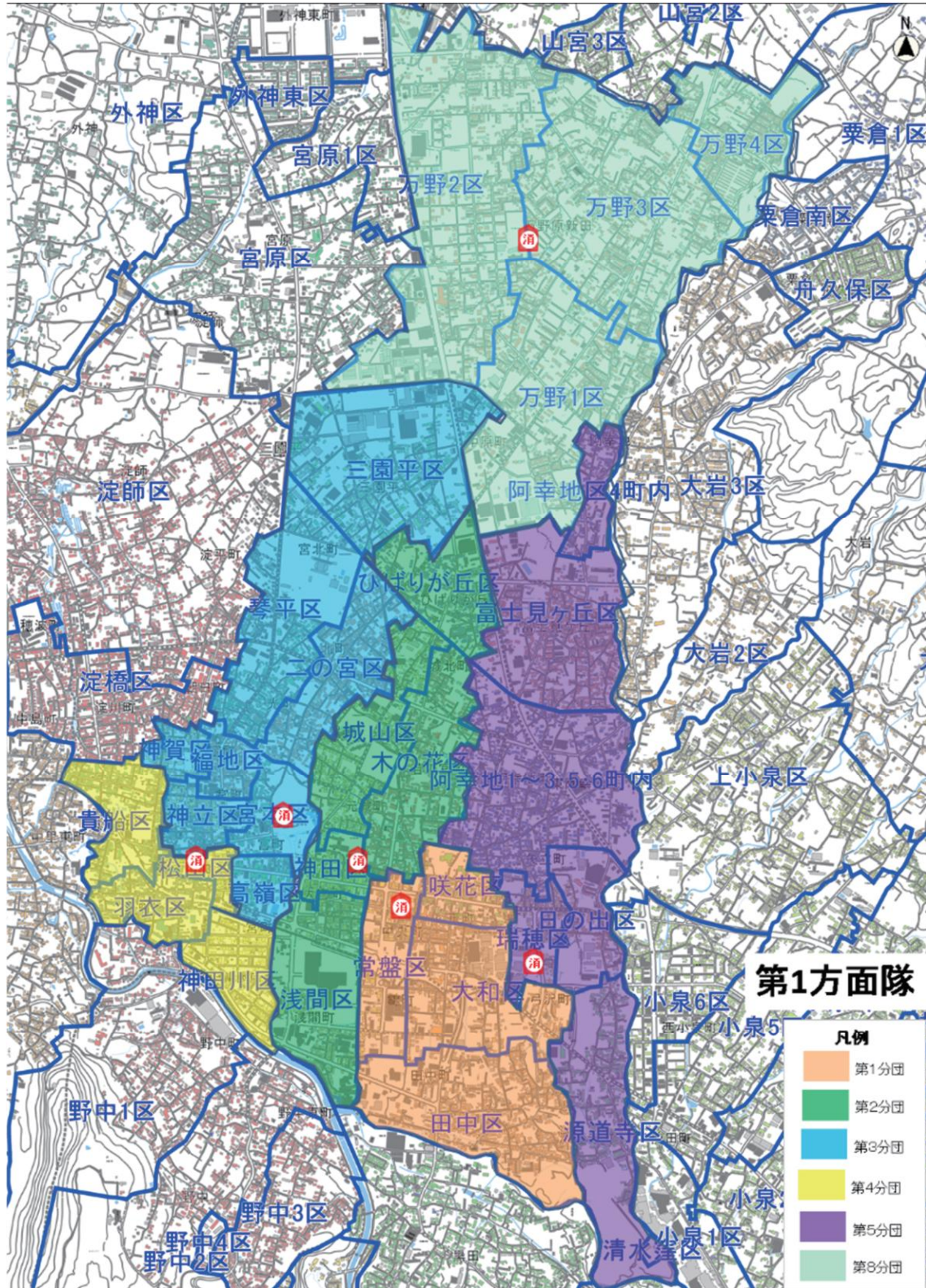


図7-1 第1方面隊分団詰所一覧

施設名称	第1分団			
所在地	中央町9-10			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成9（1997）年3月			
経過年数	28年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	164.15㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項	準防火地域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和5年3月	経過年数	2年	
施設名称	第2分団			
所在地	元城町3-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成5（1993）年3月			
経過年数	32年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	194.44㎡	
建築面積	38.35㎡	延床面積	76.70㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和3年3月	経過年数	4年	
施設名称	第3分団			
所在地	宮町1-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成15（2003）年8月			
経過年数	22年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	327.47㎡	
建築面積	55.15㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項	私有地(浅間大社)			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和6年2月	経過年数	1年	
施設名称	第4分団			
所在地	西町10-6			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和60（1985）年3月			
経過年数	40年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	51.94㎡	
建築面積	32.61㎡	延床面積	68.77㎡	
特記事項	準防火地域内、駐車場なし			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成29年12月	経過年数	8年	

図7-2 第1方面隊分団詰所一覧

施設名称	第5分団				
所在地	弓沢町137				
建物用途	詰所兼車庫				
建築年月	平成17(2005)年2月				
経過年数	20年				
構造	鉄骨造鋼板葺				
地上階	2階	敷地面積	164.15m <sup>2</sup>		
建築面積	51.40m <sup>2</sup>	延床面積	102.80m <sup>2</sup>		
特記事項					
車両種別	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車				
登録年月	平成18年2月	経過年数	19年		
施設名称	第8分団				
所在地	万野原新田3287-11				
建物用途	詰所兼車庫				
建築年月	平成8(1996)年3月				
経過年数	29年				
構造	鉄骨造折板葺				
地上階	2階	敷地面積	330.00m <sup>2</sup>		
建築面積	38.40m <sup>2</sup>	延床面積	76.80m <sup>2</sup>		
特記事項					
車両種別	普通消防ポンプ自動車				
登録年月	平成17年2月	経過年数	20年		

図8 第1方面隊 分団管轄人口推移

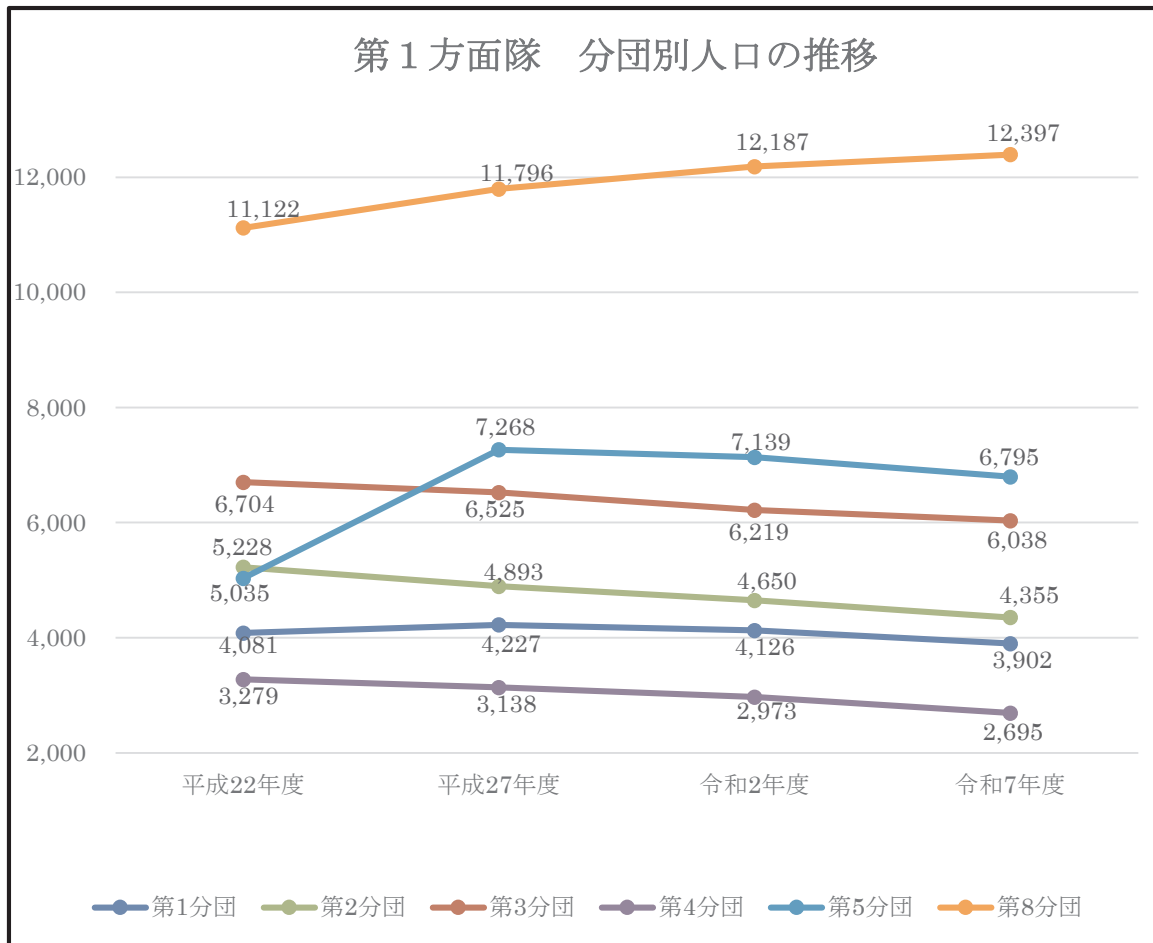


図9 第1方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第1分団			第2分団			第3分団			第4分団			第5分団			第8分団		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	17,961	18,221	36,182	1,914	1,988	3,902	2,067	2,288	4,355	3,065	2,973	6,038	1,298	1,397	2,695	3,306	3,489	6,795	6,311	6,086	12,397
13	149	163	312	14	19	33	18	9	27	15	26	41	10	9	19	31	30	61	61	70	131
14	153	168	321	13	20	33	10	21	31	15	19	34	10	13	23	39	30	69	66	65	131
15	185	165	350	22	19	41	12	17	29	33	25	58	14	14	28	41	29	70	63	61	124
16	157	170	327	13	15	28	19	18	37	27	27	54	7	11	18	28	30	58	63	69	132
17	176	194	370	20	24	44	27	25	52	14	25	39	11	14	25	30	40	70	74	66	140
18	195	161	356	31	15	46	16	19	35	33	17	50	16	10	26	32	32	64	67	68	135
19	181	164	345	21	10	31	26	21	47	35	27	62	8	12	20	26	32	58	65	62	127
20	187	171	358	20	11	31	28	24	52	25	25	50	16	16	32	33	30	63	65	65	130
21	178	180	358	16	16	32	16	24	40	27	27	54	17	9	26	39	38	77	63	66	129
22	218	188	406	20	14	34	22	21	43	46	38	84	22	16	38	36	38	74	72	61	133
23	251	195	446	16	19	35	20	19	39	47	37	84	18	17	35	49	35	84	101	68	169
24	239	175	414	24	11	35	21	17	38	56	41	97	17	11	28	31	34	65	90	61	151
25	220	170	390	17	12	29	14	14	28	49	47	96	13	13	26	41	40	81	86	44	130
26	225	192	417	22	12	34	23	24	47	44	44	88	8	9	17	48	36	84	80	67	147
27	201	167	368	17	16	33	21	23	44	41	29	70	13	8	21	35	28	63	74	63	137
28	186	165	351	12	17	29	20	19	39	24	28	52	15	10	25	28	35	63	87	56	143
29	202	166	368	20	16	36	15	12	27	44	27	71	16	9	25	31	36	67	76	66	142
30	168	146	314	12	15	27	13	14	27	30	19	49	15	11	26	30	27	57	68	60	128
31	193	138	331	12	10	22	22	16	38	33	23	56	9	9	18	40	30	70	77	50	127
32	219	130	349	16	12	28	19	10	29	44	23	67	13	5	18	27	23	50	100	57	157
33	177	148	325	15	15	30	19	24	43	33	22	55	6	14	20	26	24	50	78	49	127
34	193	178	371	16	16	32	13	18	31	26	27	53	12	12	24	43	29	72	83	76	159
35	188	170	358	13	17	30	23	22	45	35	29	64	13	12	25	37	32	69	67	58	125
36	231	172	403	26	17	43	14	20	34	46	22	68	15	8	23	49	30	79	81	75	156
37	236	198	434	20	26	46	34	23	57	40	28	68	9	11	20	57	38	95	76	72	148
計	4,908	4,234	9,142	448	394	842	485	474	959	862	702	1,564	323	283	606	907	806	1,713	1,883	1,575	3,458
潜在 %	27	23	25	23	20	22	24	21	22	28	23	26	25	20	23	27	23	25	30	26	28

## 1 現状と課題

1方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	8.89km <sup>2</sup>	90人	97人	7	107.78%

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	課題	詰所方針	方針及び計画
1分団	1.11km <sup>2</sup>	15人	9(1)	▲6	60.00%	・団員確保 ・準防火地域内	長寿命化	
2分団	1.19km <sup>2</sup>	15人	19(3)	4	126.67%		長寿命化	
3分団	1.65km <sup>2</sup>	15人	20(4)	5	133.30%		長寿命化	
4分団	0.52km <sup>2</sup>	15人	17(2)	2	113.30%	・駐車場なし ・詰所狭小、準防火地域内	移転建替え	詰所狭小、駐車場がないため、移転建替えを検討。
5分団	1.79km <sup>2</sup>	15人	16(2)	1	106.67%	・団員確保	長寿命化	
8分団	2.63km <sup>2</sup>	15人	16(3)	1	106.67%	・団員確保	長寿命化 又は建替え	

## (1) 現状（団員数）

第1方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数90人に対し実員97人、充足率107.78%となっており、方面隊としては現状良好です。祭りなどを通しての地域の関わり合いの深さなど、地域性により団員を確保しやすい環境にあることが推察されます。しかし、第1分団は、充足率60%と厳しい状況となっています。

## (2) 現状（詰所）

第1、第3、第5分団詰所は、比較的良好な状況です。また、第2、第4、第8分団は他の同人数の詰所に比べ床面積が狭い状況です。特に、第4分団については、敷地面積も狭小で駐車場が確保できていない状況です。さらに、第1分団と第4分団の詰所の立地は、準防火地域内です。

## (3) 課題等

ア 基準数に対する充足率や今後5年間における潜在団員数が方面隊単位では最も高いが、第1分団については、団員不足が顕著となっています。

イ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

---

### (1) 第1分団

現状、基準数を6人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数については、市内平均以上の水準です。

### (2) 第2分団

ア 現状、基準数を4人上回る団員数となっており、良好な状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以上の水準となっています。

イ 詰所建設から32年以上が経過していることから、今後、長寿命化及び建替えの検討が必要となってきます。

### (3) 第3分団

現状、基準数を5人上回る団員数となっており、良好な状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均を大きく上回る水準となっていることから、現状の体制を維持していきたいと考えます。

### (4) 第4分団

ア 現状、基準数を2人上回る団員数となっており、良好な状況です。しかし、今後5年間における潜在団員数が市内平均以下の水準であり、人口減少により今後も改善される可能性は低いことから、継続的に団員確保に向けた対策と検討が必要です。

イ 団員数に対して詰所の床面積が狭小であり、さらに、敷地面積も狭小で駐車場が確保できていない状況です。詰所建設から40年以上が経過し、老朽化も進んでいることから、詰所の移転建替えが必要です。

### (5) 第5分団

現状、基準数を1人上回る団員数となっており良好な状況であるが、機能別団員を活用して何とか基準数を維持している状況です。今後5年間における潜在団員数については、市内平均以上の水準です。

### (6) 第8分団

ア 現状、基準数を1人上回る団員数となっており良好な状況であるが、機能別団員を活用して何とか基準数を維持している状況です。今後5年間における潜在団員数については、市内最大規模の水準となっています。

イ 市内で最大規模の人口を有する地域を管轄し、未だに人口が増加傾向であることから、数字上では今後も良好な状況が続くと想定できます。ただし、新興住宅地であり、地域コミュニティの希薄化の懸念もあり、今後の団員確保のために対策と検討が必要です。

ウ 詰所建設から 29 年以上が経過していることから、今後長寿命化等の検討が必要となります。

### 3. 今後の再編方針

第1方面隊の各分団については、ほとんどの分団で団員数が基準数を満たしており、潜在団員数も多いことから現状維持が妥当であると考えます。

- (1) 第1分団については、現状、団員数が厳しい状況であることから、団員確保に向けた対策の検討と施策の実施を行っていきます。また、今後の人口減少や団員減少など社会情勢も考慮しながら、近隣の分団との統合についてもあわせて調査研究していくものとしします。
- (2) 第2、3、4、5、8分団については、現状体制のまま引き続き団員確保に努めていくものとしします。また、第4分団については、詰所の狭小、老朽化及び駐車場不足など様々な観点から、移転建替えを中心に検討していくものとしします。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

1 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	8.89km <sup>2</sup>	90 人	97 人	7	107.78%



再編後

1 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	8.89km <sup>2</sup>	90 人	97 人	7	107.78%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
1 分団	1.11km <sup>2</sup>	15 人	9 人 (1)	▲ 6	60.00%	・準防火地域内
2 分団	1.19km <sup>2</sup>	15 人	19 人 (3)	4	126.67%	
3 分団	1.65km <sup>2</sup>	15 人	20 人 (4)	5	133.30%	
4 分団	0.52km <sup>2</sup>	15 人	17 人 (2)	2	113.30%	・駐車場なし ・詰所狭小、準防火地域内
5 分団	1.79km <sup>2</sup>	15 人	16 人 (2)	1	106.67%	
8 分団	2.63km <sup>2</sup>	15 人	16 人 (3)	1	106.67%	



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
1 分団	1.11km <sup>2</sup>	15 人	9 人 (1)	▲ 6	60.00%	・団員確保 ・統合についての調査研究
2 分団	1.19km <sup>2</sup>	15 人	19 人 (3)	4	126.67%	
3 分団	1.65km <sup>2</sup>	15 人	20 人 (4)	5	133.30%	
4 分団	0.52km <sup>2</sup>	15 人	17 人 (2)	2	113.30%	・移転建替え検討
5 分団	1.79km <sup>2</sup>	15 人	16 人 (2)	1	106.67%	・団員確保
8 分団	2.63km <sup>2</sup>	15 人	16 人 (3)	1	106.67%	・団員確保

IV 第2方面隊

図10 第2方面隊分団詰所配置図

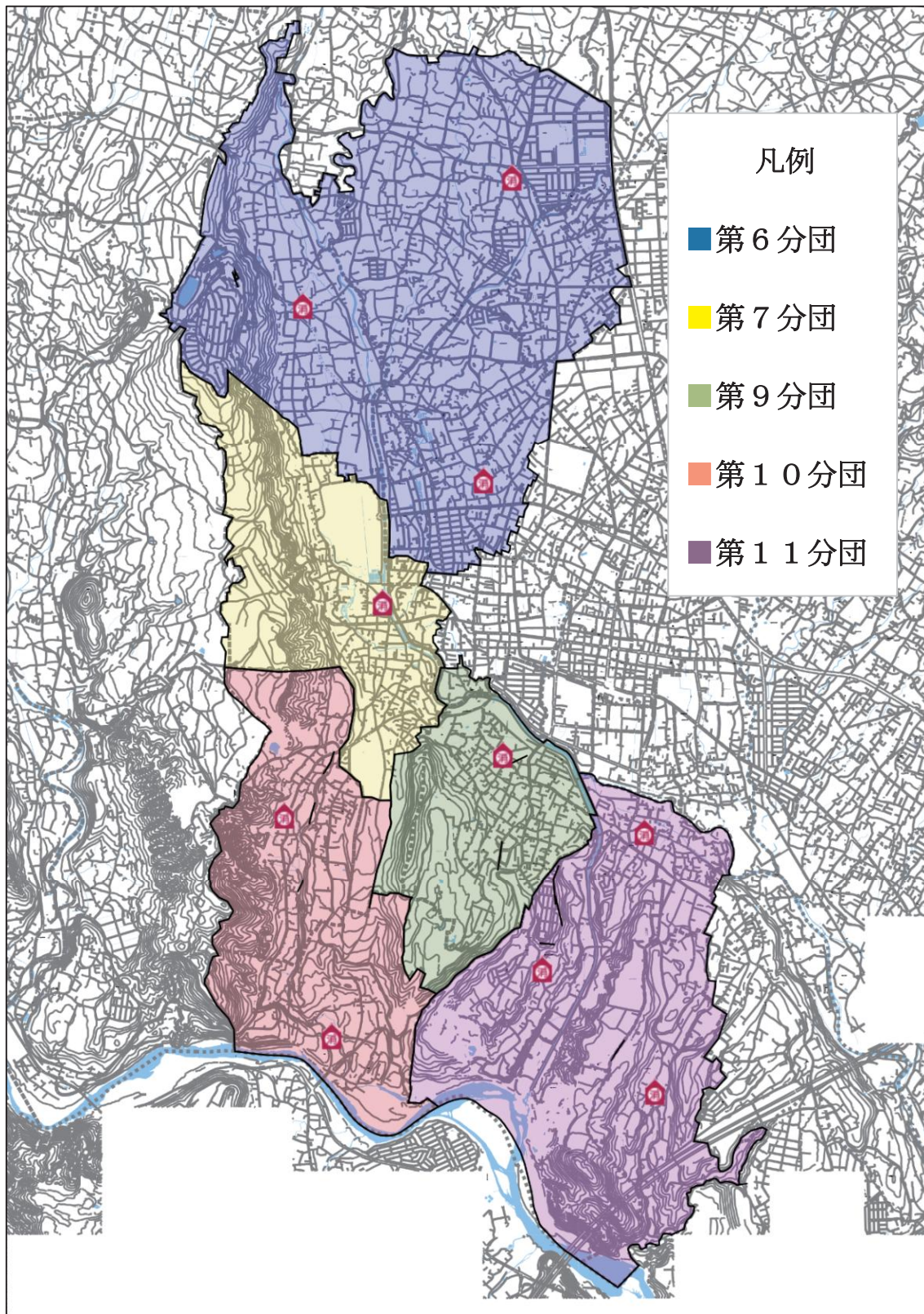


図1 1 - 1 第2方面隊分団詰所一覧

施設名称	第6分団（外神）			
所在地	外神8-9			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成7（1995）年3月			
経過年数	30年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	132.08㎡	
建築面積	38.40㎡	延床面積	76.80㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成28年3月	経過年数	9年	
施設名称	第6分団（淀師）			
所在地	淀平町50			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成21（2009）年2月			
経過年数	16年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	182.22㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成21年2月	経過年数	16年	
施設名称	第6分団（青木）			
所在地	青木1182-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成11（1999）年3月			
経過年数	26年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	330.00㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項	浸水想定区域内、液状化危険			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成24年1月	経過年数	13年	
施設名称	第7分団			
所在地	大中里438-14			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成7（1995）年3月			
経過年数	30年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	293.61㎡	
建築面積	38.40㎡	延床面積	76.80㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和2年3月	経過年数	5年	

図1 1 - 2 第2方面隊分団詰所一覧

施設名称	第9分団			
所在地	野中町608			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成18(2006)年2月			
経過年数	19年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	217.76㎡	
建築面積	56.15㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項	駐車場狭小			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成23年1月	経過年数	14年	
施設名称	第10分団(安居山)			
所在地	安居山607-2			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成10(1998)年3月			
経過年数	27年			
構造	鉄筋・鉄骨造カラーアルミ葺			
地上階	2階	敷地面積	201.00㎡	
建築面積	65.00㎡	延床面積	117.00㎡	
特記事項	土砂災害警戒区域内			
車両種別	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車			
登録年月	平成16年11月	経過年数	21年	
施設名称	第10分団(沼久保)			
所在地	沼久保25-5			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成6(1994)年3月			
経過年数	31年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	321.89㎡	
建築面積	32.10㎡	延床面積	64.20㎡	
特記事項	浸水想定区域内			
車両種別	小型動力ポンプ付積載車			
登録年月	平成24年1月	経過年数	13年	
施設名称	第11分団(星山)			
所在地	星山126-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成27(2015)年3月			
経過年数	10年			
構造	鉄骨造シングル葺			
地上階	2階	敷地面積	327.37㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	101.94㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成21年2月	経過年数	16年	

図 1 1 - 3 第2方面隊分団詰所一覧

施設名称	第11分団（黒田）				
所在地	黒田270-3				
建物用途	詰所兼車庫				
建築年月	昭和56（1981）年3月				
経過年数	44年				
構造	鉄骨造折板葺				
地上階	2階	敷地面積	85.00㎡		
建築面積	33.34㎡	延床面積	65.22㎡		
特記事項	旧耐震基準、駐車場なし				
車両種別	普通消防ポンプ自動車				
登録年月	平成29年1月	経過年数	8年		
施設名称	第11分団（貫戸）				
所在地	貫戸259-1				
建物用途	詰所兼車庫				
建築年月	昭和56（1981）年3月				
経過年数	44年				
構造	木造トタン葺				
地上階	1階	敷地面積	19.87㎡		
建築面積	19.87㎡	延床面積	19.87㎡		
特記事項	旧耐震基準、駐車場狭小				
車両種別	小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）				
登録年月	平成21年2月	経過年数	16年		

図12 第2方面隊 分団管轄人口推移

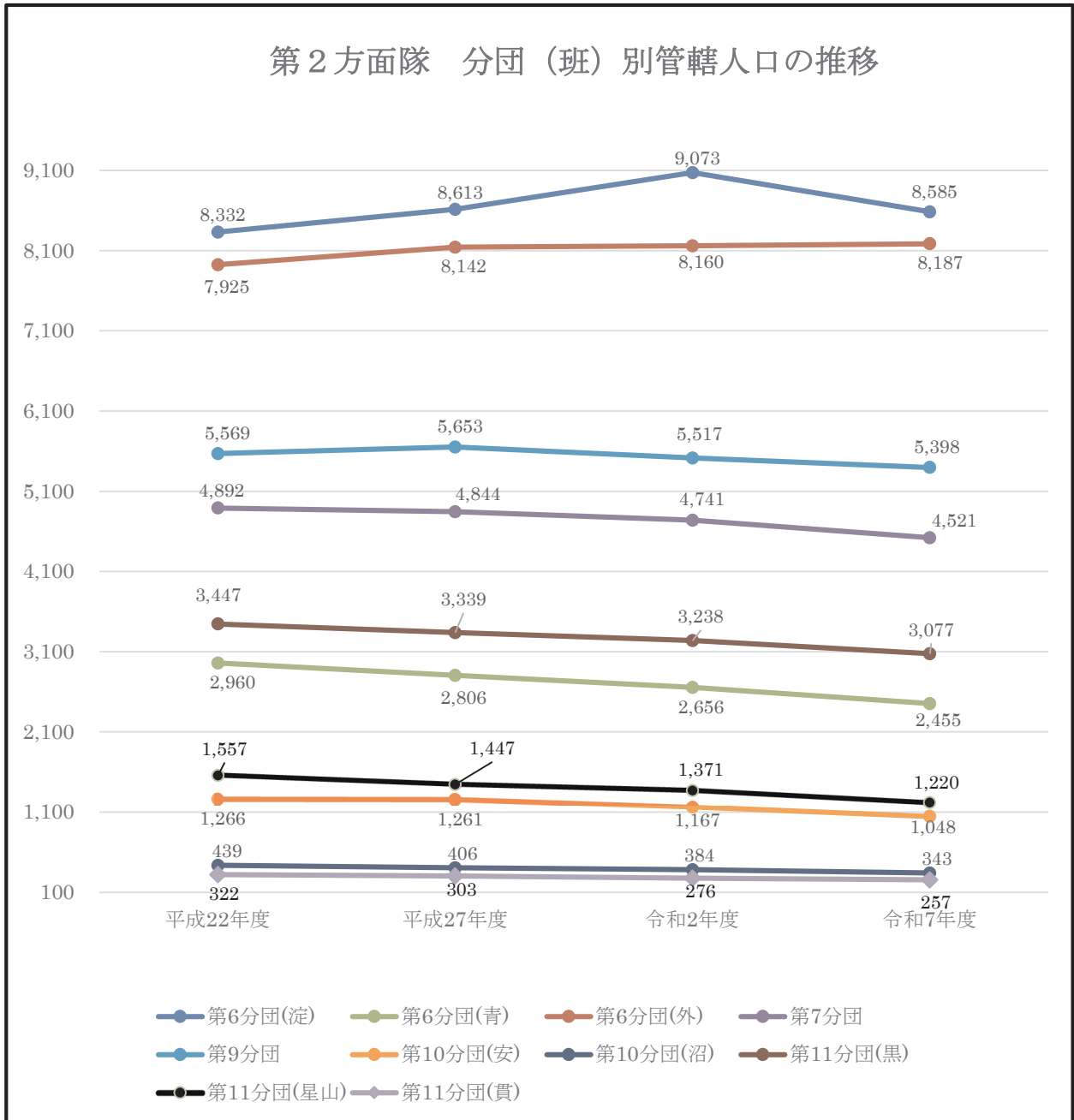


図13-1 第2方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第6分団(淀)			第6分団(青)			第6分団(外)			第7分団		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	17,224	17,867	35,091	4,182	4,403	8,585	1,212	1,243	2,455	4,111	4,076	8,187	2,240	2,281	4,521
13	170	167	337	46	46	92	11	9	20	49	43	92	17	23	40
14	168	146	314	48	42	90	5	12	17	39	22	61	22	20	42
15	184	176	360	40	47	87	10	14	24	39	43	82	23	24	47
16	180	193	373	45	62	107	11	9	20	38	38	76	24	29	53
17	227	165	392	59	39	98	13	14	27	41	33	74	27	19	46
18	163	177	340	34	57	91	14	11	25	35	36	71	17	22	39
19	168	137	305	50	47	97	8	5	13	30	25	55	20	12	32
20	160	175	335	36	40	76	13	12	25	34	35	69	19	24	43
21	183	166	349	48	43	91	12	5	17	38	38	76	27	22	49
22	181	165	346	35	36	71	15	4	19	55	43	98	24	20	44
23	176	139	315	44	32	76	11	8	19	38	40	78	18	11	29
24	165	139	304	43	40	83	6	5	11	54	26	80	23	22	45
25	171	149	320	44	39	83	8	7	15	46	40	86	28	18	46
26	173	152	325	44	41	85	4	6	10	44	35	79	35	27	62
27	155	146	301	40	34	74	6	2	8	47	39	86	19	22	41
28	165	123	288	51	29	80	9	9	18	43	31	74	22	13	35
29	163	144	307	34	34	68	5	7	12	54	41	95	27	17	44
30	166	152	318	44	46	90	10	3	13	39	43	82	30	20	50
31	170	133	303	46	38	84	8	5	13	41	34	75	28	24	52
32	151	150	301	33	35	68	10	4	14	49	42	91	20	19	39
33	184	146	330	58	45	103	8	5	13	40	30	70	26	20	46
34	184	133	317	40	37	77	9	4	13	55	30	85	27	19	46
35	159	147	306	42	37	79	6	7	13	43	49	92	17	22	39
36	176	189	365	56	46	102	6	13	19	49	47	96	19	22	41
37	171	169	340	38	47	85	9	7	16	52	46	98	26	23	49
計	4,313	3,878	8,191	1,098	1,039	2,137	227	187	414	1,092	929	2,021	585	514	1,099
潜在 %	<b>25</b>	<b>22</b>	<b>23</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>19</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>27</b>	<b>23</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>23</b>	<b>24</b>

図13-2 第2方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	第9分団			第10分団(安)			第10分団(沼)			第11分団(星)			第11分団(黒)			第11分団(貫)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	2,619	2,779	5,398	502	546	1,048	171	172	343	556	664	1,220	1,496	1,581	3,077	135	122	257
13	24	21	45	5	6	11	2	0	2	3	4	7	11	15	26	2	0	2
14	28	27	55	7	5	12	1	1	2	1	3	4	16	13	29	1	1	2
15	33	31	64	7	8	15	3	0	3	4	1	5	23	8	31	2	0	2
16	34	29	63	6	4	10	1	1	2	4	7	11	17	12	29	0	2	2
17	44	35	79	9	7	16	1	2	3	6	4	10	23	12	35	4	0	4
18	31	24	55	4	4	8	2	2	4	3	8	11	23	12	35	0	1	1
19	24	26	50	5	4	9	2	0	2	3	7	10	25	10	35	1	1	2
20	29	30	59	4	7	11	0	1	1	8	11	19	16	14	30	1	1	2
21	30	30	60	5	10	15	0	0	0	3	3	6	20	12	32	0	3	3
22	29	31	60	3	7	10	0	2	2	5	5	10	15	16	31	0	1	1
23	31	25	56	6	5	11	2	1	3	6	4	10	20	13	33	0	0	0
24	20	26	46	2	3	5	0	0	0	4	3	7	12	12	24	1	2	3
25	23	27	50	3	7	10	0	1	1	3	2	5	14	8	22	2	0	2
26	22	22	44	3	3	6	0	0	0	3	2	5	17	16	33	1	0	1
27	31	28	59	3	4	7	1	0	1	0	2	2	8	15	23	0	0	0
28	24	22	46	2	2	4	2	2	4	1	5	6	11	9	20	0	1	1
29	29	25	54	3	4	7	0	0	0	0	2	2	11	13	24	0	1	1
30	22	25	47	4	2	6	1	2	3	6	0	6	9	11	20	1	0	1
31	29	18	47	2	4	6	2	1	3	2	4	6	12	5	17	0	0	0
32	19	24	43	3	2	5	0	0	0	4	5	9	10	17	27	3	2	5
33	26	28	54	4	2	6	4	2	6	2	3	5	16	11	27	0	0	0
34	31	21	52	3	2	5	2	1	3	2	3	5	14	15	29	1	1	2
35	32	17	49	0	5	5	1	0	1	1	1	2	15	9	24	2	0	2
36	20	31	51	5	3	8	2	0	2	6	3	9	12	21	33	1	3	4
37	17	23	40	2	1	3	2	2	4	4	4	8	20	13	33	1	3	4
計	682	646	1,328	100	111	211	31	21	52	84	96	180	390	312	702	24	23	47
潜在 %	<b>26</b>	<b>23</b>	<b>25</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>18</b>	<b>12</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>26</b>	<b>20</b>	<b>23</b>	<b>18</b>	<b>19</b>	<b>18</b>

1. 現状と課題

2方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	25.43km <sup>2</sup>	129人	98人	▲31	75.97%

分団 (班)	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団・班)	課題	詰所方針	方針及び計画
6分団 (淀師)	2.09km <sup>2</sup>	15人	16(1)	1	106.67%			
6分団 (宮原・外神)	4.28km <sup>2</sup>	15人	11(1)	▲4	73.33%	・団員確保 ・駐車場狭小	長寿命化	
6分団 (青木)	3.15km <sup>2</sup>	15人	12(1)	▲3	80.00%	・浸水想定区域内 ・液状化区域内 ・団員確保	長寿命化又は 移転建替え	
7分団	3.28km <sup>2</sup>	15人	11(0)	▲4	73.33%	・団員確保	長寿命化	
9分団	2.60km <sup>2</sup>	15人	14(0)	▲1	93.33%	・団員確保 ・敷地面積狭小		
10分団 (安居山)	2.26km <sup>2</sup>	12人	9(2)	▲3	75.00%	・団員確保 ・土砂災害警戒区域内	長寿命化又は 移転建替え	
10分団 (沼久保)	1.86km <sup>2</sup>	6人	7(3)	1	116.67%	・浸水想定区域内		
11分団 (星山)	3.23km <sup>2</sup>	15人	4(1)	▲11	26.67%	・団員確保		
11分団 (黒田)	1.26km <sup>2</sup>	15人	8(0)	▲7	53.33%	・団員確保 ・詰所狭小、旧耐震基準	移転建替え	
11分団 (貫戸)	1.42km <sup>2</sup>	6人	6(1)	0	100.00%	・団員確保 ・詰所狭小、旧耐震基準	移転建替え	

(1) 現状 (団員数)

第2方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数129人に対し実員98人、充足率75.97%で、市内平均を大きく下回る充足率となっています。

(2) 現状 (詰所)

第6分団(淀師)、第7分団、第11分団(星山)詰所は、比較的良好な状況です。一方、第6分団(青木)詰所は浸水想定区域や液状化区域、第10分団(安居山)詰所は土砂災害警戒区域、第10分団(沼久保)詰所は浸水想定区域、第11分団(黒田)と第11分団(貫戸)詰所は施設が狭小であり、駐車場が確保できておらず、さらに、旧耐震基準となっています。なお、今後10年程度で同時に建築から40年程度を経過する詰所が多くあります。

## (3) 課題等

ア 分団(班)によっては団員不足が深刻となっており、今後5年間における潜在団員数も著しく低いところがあります。

イ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

## (1) 第6分団(淀師)

現状、基準数を1人上回る団員数となっており、良好な状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均を大きく上回る水準であることから、現状の体制を維持していきたいと考えます。

## (2) 第6分団(宮原・外神)

ア 現状、基準数を4人下回る団員数となっており、厳しい状況です。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均を大きく上回る水準となっています。

イ 詰所建設から30年以上が経過していることから、今後、長寿命化及び建替えの検討が必要となります。

## (3) 第6分団(青木)

ア 現状、基準数を3人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以下の水準であることから、将来的には近隣の分団(班)との統合によって効率的な組織運営を図ることも検討する必要があります。

イ 詰所が浸水想定区域内(0.5m未満)に位置しています。

## (4) 第7分団

現状、基準数を4人下回る団員数となっており、厳しい状況です。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均以上の水準となっていることから、継続的な団員確保に向けた対策の検討と施策の実施を行うことで状況を打破していきたいと考えます。しかしながら、今後も団員数の維持が困難な状況となった際には、近隣の分団との統廃合を検討していく必要があります。

## (5) 第9分団

ア 現状、基準数を1人下回る団員数となっていますが、基本団員のみでの運営ができていることから、良好な状況です。今後5年間における潜在団員数についても、市内平均以上の水準となっています。

イ 敷地面積が狭小となっています。

## (6) 第10分団(安居山)

ア 現状、基準数を3人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も低水準となっており、将来的に劇的な団員増加は非常に困難な状況であることから、近隣の分団(班)との統合を行い、効率的な組織運営を図る必要があります。

イ 詰所が土砂災害警戒区域内にあることから、今後、移転建替えの検討が必要となります。

## (7) 第10分団(沼久保)

ア 現状、基準数を1人上回る団員数となっていますが、団員の半数近くが機能別団員となっています。また、今後5年間における潜在団員数が低水準となっており、将来的に団員数の維持は困難であると考えます。今後は、近隣の分団(班)との統合を行い、効率的な組織運営を図る必要があります。

イ 詰所が富士川の浸水想定区域(5m~10m未満)にあり、管轄区域も浸水想定区域を抱えています。

## (8) 第11分団(星山)

現状、団員数が4人となっており、基準数に対して11人の不足となっています。

このことから、ポンプ車の運用も非常に厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も低水準であることから、将来的に劇的な団員増加は非常に困難な状況です。近隣の分団(班)との統合を行うことで効率的な組織運営を図る必要があります。

## (9) 第11分団(黒田)

ア 現状、基準数を7人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以下の水準であることから、近隣の分団(班)との統合を行うことで効率的な組織運営を図る必要があります。

イ 詰所建設から44年以上が経過し、現行の耐震基準を満たしていません。また、敷地面積も狭小で駐車場が確保できていないことから、災害時の参集をはじめ、消防団活動において支障が認められます。詰所の移転建替えは急務です。

#### (10) 第11分団(貫戸)

ア 現状、基準数を満たした団員数を確保できています。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内でも最低水準にあることから、将来的に消防団活動を維持していくことは非常に困難であると考えます。このことから、近隣の分団(班)との統合を行うことで効率的な組織運営を図る必要があります。

イ 詰所建築から44年以上が経過し、現行の耐震基準を満たしていません。敷地面積も狭小であることから、詰所の移転建替えは急務です。

### 3. 今後の再編方針

将来的な第6分団(宮原・外神)と第6分団(青木)の統合について、調査・研究を行います。両班とも現団員数や今後5年間の潜在団員数等の数値からは、ここ数年で消防団活動に支障を来すといった切迫性までは認められません。ただし、小学校区及び中学校区が重複している地域も一部あることや、同時期に詰所を建築していることから、統合について検討の余地はあります。

第9分団と第11分団(星山)は統合が必要です。両分団(班)は、詰所の位置関係も比較的近距離であり、中学校区が重複している地域も一部あることから、妥当であると考えます。なお、統合に際しては、第11分団(星山)の区割りの見直しを実施し、第9分団管轄の野中1区から4区までと同じ中学校区である星山2区を第9分団の管轄とします。星山1区については、第11分団(黒田)等と同じ中学校区であることから、第11分団(黒田)をはじめとした枠組みの管轄とします。

第10分団(安居山)と第10分団(沼久保)は、統合が必要です。既に同一分団であり、小学校区及び中学校区も重複することから妥当であると考えます。

第11分団(黒田)、第11分団(貫戸)、第11分団(星山)管轄の1部(※星山1区)及び第12分団(山本)は、統合が必要です。第12分団(山本)は方面隊が異なりますが、これらの分団(班)は、隣接であります。また、中学校区も重複していることから妥当であると考えます。さらに、第11分団の両班詰所は建替えの必要性が差し迫っており、第12分団(山本)詰所についても長寿命化の対象となっていることから、これらの統合による移転建替えの適時といえます。

## (1) 第9分団と第11分団(星山)の統合について

ア 第9分団と第11分団(星山)の統合については、管轄の区割りの見直しを行った上で実施いたします。現在、第11分団(星山)が管轄している星山1区及び星山2区は、星山2区と第9分団管轄の野中1区から4区までが同じ中学校区であることから、現在の第9分団の管轄に星山2区を加えることとします。星山1区については、現在の第11分団(黒田)、第11分団(貫戸)と同じ中学校区であることから、第11分団(黒田)をはじめとした分団の管轄とします。

イ 詰所については、第9分団詰所を使用するものとします。第11分団(星山)の現詰所については、あらゆる活用方法について検討していきます。

ウ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。現団員数では、20人に満たないことから、団員確保に向けた対策の検討と施策の実施を行うものとします。

エ 車両については2台体制とし、内1台を機動性に優れた資機材搬送車に更新します。

オ 分団の名称については、第9分団とします。

## (2) 第10分団(安居山)と第10分団(沼久保)の統合について

ア 詰所については、第10分団(安居山)詰所を使用するものとします。第10分団(沼久保)詰所については、廃止するものとします。ただし、第10分団(安居山)詰所についても土砂災害警戒区域に指定されていることから、今後の移転建替えについても検討していきます。なお、移転建替えに際しては、今後の団員数や人口減少等を考慮しながら、第7分団との将来的な統合について継続的に調査・研究していくこととします。

イ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。現団員数では、20人に満たないことから、団員確保に向けた対策の検討と施策の実施をしていきます。

ウ 車両については、2台体制とします。

エ 分団の名称については、第10分団とします。

(3) 第11分団(黒田)、第11分団(貫戸)、第11分団(星山)の1部及び第12分団(山本)の統合について

ア 詰所については、移転建替えとし、早急に適地の選定に入ることとします。旧詰所は、廃止とします。

イ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。ただし、直ちに減員することなく、しばらくの間、現団員数で活動していくものとします。

ウ 車両については、2台体制とし、内1台を機動性に優れた資機材搬送車に更新します。

エ 分団の名称については、今後検討していくものとします。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

2方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	25.43km <sup>2</sup>	129人	98人	▲31	75.97%



再編後

2方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	27.97km <sup>2</sup>	120人	107人	▲13	89.17%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
6分団(淀師)	2.09km <sup>2</sup>	15人	16人(1)	1	106.67%	
6分団(外神)	4.28km <sup>2</sup>	15人	11人(1)	▲4	73.33%	・団員確保
6分団(青木)	3.15km <sup>2</sup>	15人	12人(1)	▲3	80.00%	・団員確保
7分団	3.28km <sup>2</sup>	15人	11人(0)	▲4	73.33%	・団員確保
9分団	2.60km <sup>2</sup>	15人	14人(0)	▲1	93.33%	・団員確保
10分団(安居山)	2.26km <sup>2</sup>	12人	9人(2)	▲3	75.00%	・団員確保
10分団(沼久保)	1.86km <sup>2</sup>	6人	7人(3)	1	116.67%	・浸水想定区域内
11分団(星山)	3.23km <sup>2</sup>	15人	4人(1)	▲11	26.67%	・団員確保
11分団(黒田)	1.26km <sup>2</sup>	15人	8人(0)	▲7	53.33%	・団員確保 ・詰所狭小、老朽化
11分団(貫戸)	1.42km <sup>2</sup>	6人	6人(1)	0	100.00%	・団員確保 ・詰所狭小、老朽化



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
6分団(淀師)	2.09km <sup>2</sup>	15人	16人(1)	1	106.67%	・現状体制の維持
6分団(外神)	4.28km <sup>2</sup>	15人	11人(1)	▲4	73.33%	・団員確保
6分団(青木)	3.15km <sup>2</sup>	15人	12人(1)	▲3	80.00%	・団員確保
7分団	3.28km <sup>2</sup>	15人	11人(0)	▲4	73.33%	・団員確保 ・10年以内の統合を検討
9分団	2.75km <sup>2</sup>	20人	18人(1)	▲2	90.00%	・新たに星山2区を管轄 ・団員確保
10分団	4.12km <sup>2</sup>	20人	16人(5)	▲4	80.00%	・沼久保班と統合 ・団員確保
11分団	8.30km <sup>2</sup>	20人	23人(1)	3	115.00%	・第11分団(黒田)、第11分団(貫戸)、第12分団(山本)と統合 ・移転建替え

V 第3方面隊

図14 第3方面隊分団詰所配置図

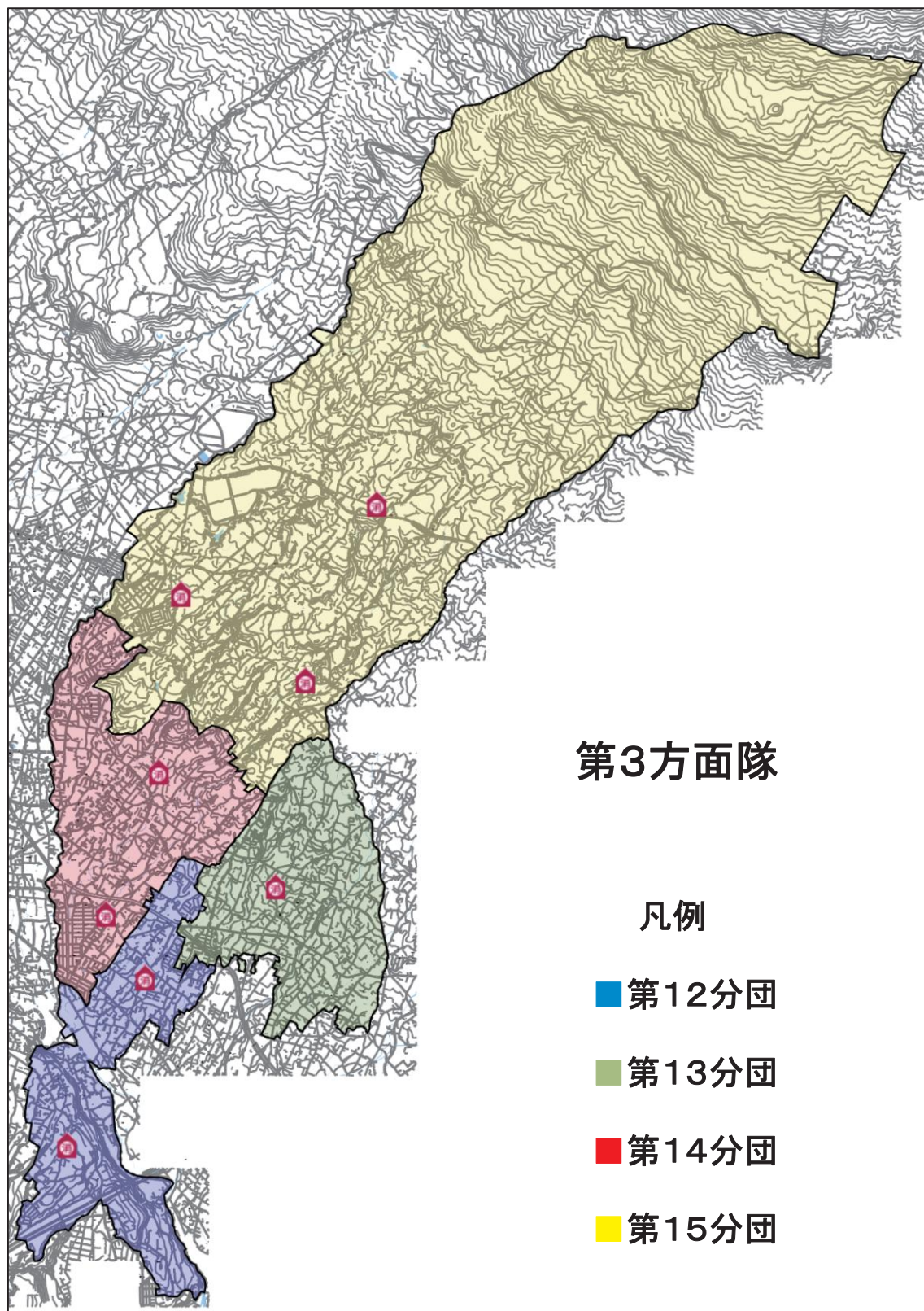


図15-1 第3方面隊分団詰所一覧

施設名称	第12分団（山本）			
所在地	山本540-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成2（1990）年3月			
経過年数	35年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	333.00㎡	
建築面積	38.70㎡	延床面積	77.40㎡	
特記事項				
車両種別	水槽付(1,000ℓ)消防ポンプ自動車			
登録年月	令和4年1月	経過年数	3年	
施設名称	第12分団（小泉）			
所在地	小泉539-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成13（2001）年2月			
経過年数	24年			
構造	鉄骨造鋼板葺			
地上階	2階	敷地面積	231.00㎡	
建築面積	65.00㎡	延床面積	117.00㎡	
特記事項				
車両種別	水槽付(1,000ℓ)消防ポンプ自動車			
登録年月	令和5年2月	経過年数	2年	
施設名称	第13分団			
所在地	杉田1230-6			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成19（2007）年3月			
経過年数	18年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	294.00㎡	
建築面積	56.15㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成18年2月	経過年数	19年	
施設名称	第14分団（小泉）			
所在地	小泉1864			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成元（1989）年3月			
経過年数	36年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	192.78㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	101.94㎡	
特記事項	敷地面積狭小、浸水想定区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成21年2月	経過年数	16年	

図15-2 第3方面隊分団詰所一覧

施設名称	第14分団（大岩）			
所在地	大岩1477-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成25（2013）年3月			
経過年数	12年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	361.66㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	101.94㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成23年1月	経過年数	14年	
施設名称	第15分団（二又）			
所在地	粟倉918-6			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成23（2011）年3月			
経過年数	14年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	337.66㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	102.80㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成20年2月	経過年数	17年	
施設名称	第15分団（神成）			
所在地	村山102-13			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成29（2017）年3月			
経過年数	8年			
構造	鉄骨造シングル葺			
地上階	2階	敷地面積	246.18㎡	
建築面積	51.40㎡	延床面積	101.94㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成29年12月	経過年数	8年	
施設名称	第15分団（村山）			
所在地	村山1242-3			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和57（1982）年3月			
経過年数	43年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	1階	敷地面積	148.03㎡	
建築面積	61.93㎡	延床面積	60.27㎡	
特記事項	ホース乾燥塔なし、私有地(村山浅間神社)			
車両種別	小型動力ポンプ付積載車			
登録年月	平成28年3月	経過年数	9年	

図16 第3方面隊 分団管轄人口推移

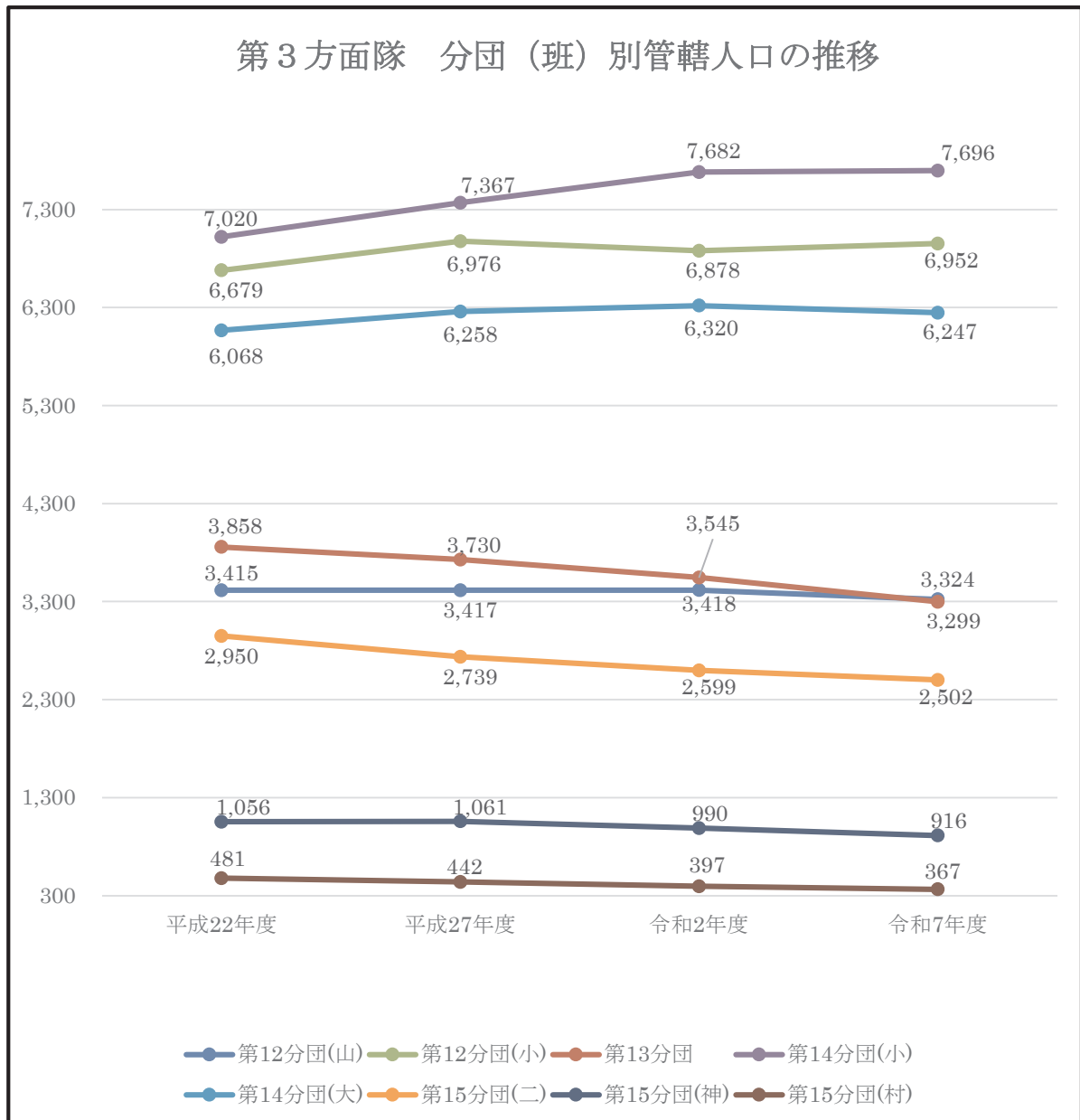


図17-1 第3方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第12分団(山)			第12分団(小)			第13分団		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	17,740	17,590	35,330	1,645	1,679	3,324	3,438	3,514	6,952	1,672	1,627	3,299
13	166	180	346	13	14	27	23	39	62	16	17	33
14	194	175	369	22	16	38	43	35	78	14	12	26
15	174	174	348	14	11	25	27	38	65	21	14	35
16	176	152	328	15	13	28	23	21	44	20	16	36
17	168	160	328	17	15	32	28	31	59	11	12	23
18	162	186	348	7	13	20	34	27	61	18	16	34
19	158	180	338	17	13	30	27	39	66	13	14	27
20	151	141	292	12	9	21	24	27	51	16	14	30
21	197	144	341	23	16	39	37	27	64	21	10	31
22	208	149	357	19	13	32	40	32	72	21	14	35
23	203	155	358	14	10	24	38	34	72	24	11	35
24	199	203	402	24	12	36	44	45	89	10	6	16
25	186	149	335	14	12	26	43	38	81	15	9	24
26	221	165	386	18	16	34	52	40	92	14	6	20
27	179	176	355	12	15	27	48	42	90	16	10	26
28	201	145	346	13	10	23	47	48	95	20	11	31
29	227	184	411	17	22	39	49	41	90	8	12	20
30	220	138	358	20	16	36	52	27	79	11	6	17
31	211	171	382	15	17	32	47	41	88	11	13	24
32	185	134	319	23	14	37	31	30	61	9	5	14
33	177	144	321	12	13	25	38	31	69	14	3	17
34	199	178	377	18	12	30	44	32	76	9	7	16
35	175	191	366	26	21	47	30	35	65	9	8	17
36	228	201	429	19	19	38	44	43	87	9	14	23
37	228	178	406	16	12	28	44	35	79	21	12	33
計	4,793	4,153	8,946	420	354	774	957	878	1,835	371	272	643
潜在 %	<b>27</b>	<b>24</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>21</b>	<b>23</b>	<b>28</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>22</b>	<b>17</b>	<b>19</b>

図17-2 第3方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	第14分団(小)			第14分団(大)			第15分団(二)			第15分団(神)			第15分団(村)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	3,802	3,894	7,696	3,212	3,035	6,247	1,253	1,249	2,502	2,525	2,418	4,943	193	174	367
13	41	44	85	37	33	70	8	9	17	26	24	50	2	0	2
14	47	51	98	29	28	57	13	9	22	24	20	44	2	4	6
15	46	45	91	34	30	64	10	12	22	22	22	44	0	2	2
16	43	46	89	38	30	68	4	5	9	31	21	52	2	0	2
17	53	46	99	24	27	51	14	8	22	19	21	40	2	0	2
18	38	55	93	33	35	68	8	13	21	23	27	50	1	0	1
19	31	42	73	31	34	65	12	9	21	24	28	52	3	1	4
20	26	39	65	32	23	55	11	9	20	28	17	45	2	3	5
21	29	29	58	38	23	61	10	15	25	36	20	56	3	4	7
22	39	33	72	40	30	70	7	6	13	36	20	56	6	1	7
23	44	32	76	38	34	72	10	8	18	34	25	59	1	1	2
24	35	42	77	43	43	86	14	19	33	29	35	64	0	1	1
25	48	28	76	31	28	59	14	12	26	20	22	42	1	0	1
26	33	31	64	46	33	79	24	13	37	32	25	57	2	1	3
27	24	32	56	35	35	70	15	12	27	27	30	57	2	0	2
28	34	39	73	46	18	64	8	6	14	33	13	46	0	0	0
29	54	55	109	44	26	70	18	7	25	34	20	54	3	1	4
30	50	37	87	41	23	64	14	9	23	32	20	52	0	0	0
31	44	46	90	44	25	69	15	11	26	34	17	51	1	1	2
32	45	35	80	35	26	61	12	6	18	29	18	47	1	0	1
33	48	35	83	30	30	60	13	11	24	20	20	40	2	1	3
34	39	47	86	41	35	76	16	12	28	31	31	62	1	2	3
35	42	45	87	34	38	72	13	14	27	21	28	49	0	2	2
36	58	47	105	45	39	84	19	13	32	33	26	59	1	0	1
37	52	47	99	48	35	83	8	10	18	38	25	63	1	2	3
計	1,043	1,028	2,071	937	761	1,698	310	258	568	716	575	1,291	39	27	66
潜在 %	<b>27</b>	<b>26</b>	<b>27</b>	<b>29</b>	<b>25</b>	<b>27</b>	<b>25</b>	<b>21</b>	<b>23</b>	<b>28</b>	<b>24</b>	<b>26</b>	<b>20</b>	<b>16</b>	<b>18</b>

## 1 現状と課題

3方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	44.99km <sup>2</sup>	117人	84人	▲33	71.79%

分団(班)	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団・班)	課題	詰所方針	方針及び計画
12分団(山本)	2.54km <sup>2</sup>	15人	9(0)	▲6	60.00%	・団員確保 ・詰所老朽化	長寿命化	
12分団(小泉)	1.71km <sup>2</sup>	15人	11(2)	▲4	73.33%	・団員確保		
13分団	4.42km <sup>2</sup>	15人	10(1)	▲5	66.67%	・団員確保		
14分団(小泉)	1.95km <sup>2</sup>	15人	10(2)	▲5	66.67%	・団員確保 ・敷地面積狭小 ・浸水想定区域内		
14分団(大岩)	3.00km <sup>2</sup>	15人	10(3)	▲5	66.67%	・団員確保		
15分団(二又)	2.53km <sup>2</sup>	15人	7(0)	▲8	46.67%	・団員確保		
15分団(村山)	3.34km <sup>2</sup>	12人	11(1)	▲1	91.67%	・ホース乾燥塔なし		
15分団(神成)	25.50km <sup>2</sup>	15人	16(3)	1	106.67%			

## (1) 現状(団員数)

第3方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数117人に対し実員84人、充足率71.79%で、市内で最も低い充足率となっています。

## (2) 現状(詰所)

第12分団(小泉)、第13分団、第14分団(大岩)、第15分団(二又)、第15分団(神成)詰所は、比較的良好な状況です。一方、第12分団(山本)、第14分団(小泉)は、手狭な状況であり、第14分団(小泉)は、浸水想定区域内でもあります。第15分団(村山)詰所は、建設から43年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況です。

## (3) 課題等

ア 分団(班)によっては団員不足が深刻となっており、今後5年間における潜在団員数も著しく低いところがあります。

イ 管轄区域が広く、山林も抱えているため、山林火災にも対応できるよう団員数を

多く確保する必要があります。さらに、土砂災害警戒区域も多く点在しています。

ウ 地理的な要因から、喫緊に組織の再編、統廃合を進めることは困難である地域もあります。

エ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

### (1) 第12分団(山本)

現状、基準数を6人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以下の水準であることから、近隣の分団との統合を進め、組織の効率化を図る必要があります。

### (2) 第12分団(小泉)

現状、基準数を8人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数は、市内平均以上の水準ではあるが、新興住宅が多いなどの地域の特性もあり、今後も団員の確保に苦慮することが予想されます。

### (3) 第13分団

現状、基準数を5人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以下の水準です。

### (4) 第14分団(小泉)

ア 現状、基準数を5人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数は、市内平均を大きく上回る水準ではあるが、新興住宅が多いなどの地域の特性もあり、今後も団員の確保に苦慮することが予想されます。

イ 浸水想定区域内(0.5m～1.0m未満)に詰所が位置しています。

### (5) 第14分団(大岩)

ア 現状、基準数を5人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数は、市内平均以上の水準となっていますが、新興住宅が多いなどの地域の特性もあり、今後も団員の確保に苦慮することが予想されます。

イ 近隣の分団（班）との統合等も含めた検討をする必要があります。

(6) 第15分団(二又)

現状、基準数を8人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以下の水準であり、今後も団員の確保に苦慮することが予想されます。

(7) 第15分団(神成)

現状、基準数を1人上回る団員数となっており、良好な状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以上の水準となっています。

(8) 第15分団(村山)

現状、基準数に対して1人下回る団員数となっております。直ちに運営が厳しくなるという状況ではありませんが、今後5年間における潜在団員数が市内でも最低水準となっていることから、将来的には厳しい状況となることが予想されます。ただし、他の詰所との距離が離れていることから、統合は慎重に検討すべきであり、まずは近隣の班との協力体制の一層の強化を図っていく必要があります。

### 3. 今後の再編方針

第12分団(山本)については、第2方面隊の第11分団(黒田)及び第11分団(貫戸)との統合が必要です。方面隊が異なりますが、これらの分団（班）は隣接であり、小学校区及び中学校区も重複していることから妥当であると考えます。さらに、3班全てにおいて、詰所建設から長い年月が経過していることから、適時であります。

第12分団(小泉)と第14分団(小泉)は、統合の必要性があります。両分団(班)は、詰所の位置関係も比較的近距离であり、小学校区及び中学校区が重複していることから、妥当であると考えます。統合に際しては、近隣詰所の位置関係等を考慮し、管轄区の見直しも同時に実施していきます。また、第12分団(小泉)詰所が比較的築浅であることから、詰所の移転建替えについては、関係部局と協議し、十分検討する必要があります。

(1) 第12分団(山本)、第11分団(黒田)及び第11分団(貫戸)の統合について

ア 詰所については、移転建替えとし、早急に適地の選定に入ることとします。旧詰所は、廃止とします。

イ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。ただし、直ちに減

員することなく、しばらくの間、現団員数で活動していくものとします。

ウ 車両については、2台体制とし、内1台を機動性に優れた資機材搬送車に更新します。

エ 分団の名称については、今後検討していくものとします。

(2) 第12分団(小泉)と第14分団(小泉)の統合について

ア 管轄区については、近隣詰所の位置関係等を考慮し、第14分団(大岩)も含めた中で見直しを実施します。

イ 詰所については、第12分団(小泉)詰所が比較的築浅のため、同詰所を使用することとします。

ウ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。ただし、直ちに減員することなく、しばらくの間、現団員数で活動していくものとします。

エ 車両については、2台体制とし、内1台を機動性に優れた資機材搬送車への変更を検討します。

オ 名称については、今後検討していくものとします。

(3) 第14分団(大岩)について

ア 第12分団(小泉)と第14分団(小泉)の統合に関連し、管轄区の見直しを行います。詰所の位置関係及び管轄人口の均等化を図る観点から第14分団(小泉)の管轄である上小泉区を第14分団(大岩)の管轄とします。

イ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。

ウ 車両については、資機材搬送車の追加配備を検討します。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

3方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	44.99km <sup>2</sup>	117人	84人	▲33	71.79%



再編後

3方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	42.45km <sup>2</sup>	97人	75人	▲22	77.32%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
12分団(山本)	2.54km <sup>2</sup>	15人	9人(0)	▲6	60.00%	・団員確保
12分団(小泉)	1.71km <sup>2</sup>	15人	11人(2)	▲4	73.33%	・団員確保
13分団	4.42km <sup>2</sup>	15人	10人(1)	▲5	66.67%	・団員確保
14分団(小泉)	1.95km <sup>2</sup>	15人	10人(2)	▲5	66.67%	・団員確保 ・浸水想定区域内
14分団(大岩)	3.00km <sup>2</sup>	15人	10人(3)	▲5	66.67%	・団員確保
15分団(二又)	2.53km <sup>2</sup>	15人	7人(0)	▲8	46.67%	・団員確保
15分団(村山)	3.34km <sup>2</sup>	12人	11人(1)	▲1	91.67%	・詰所の長寿命化検討
15分団(神成)	25.50km <sup>2</sup>	15人	16人(3)	1	106.67%	



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
12分団	2.59km <sup>2</sup>	20人	21人(4)	1	105.00%	・第12分団(小泉)と第14分団(小泉)の統合 ・第14分団(大岩)も含めて管轄区の見直し
13分団	4.42km <sup>2</sup>	15人	10人(1)	▲5	66.67%	・団員確保
14分団	4.07km <sup>2</sup>	20人	10人(3)	▲10	50.00%	・団員確保 ・管轄区の見直し
15分団 二又	2.53km <sup>2</sup>	15人	7人(0)	▲8	90.00%	・団員確保
15分団 村山	3.34km <sup>2</sup>	12人	11人(1)	▲1	91.67%	・詰所の長寿命化検討
15分団(神成)	25.50km <sup>2</sup>	15人	16人(3)	1	106.67%	

VI 第4方面隊

図18 第4方面隊分団詰所配置図

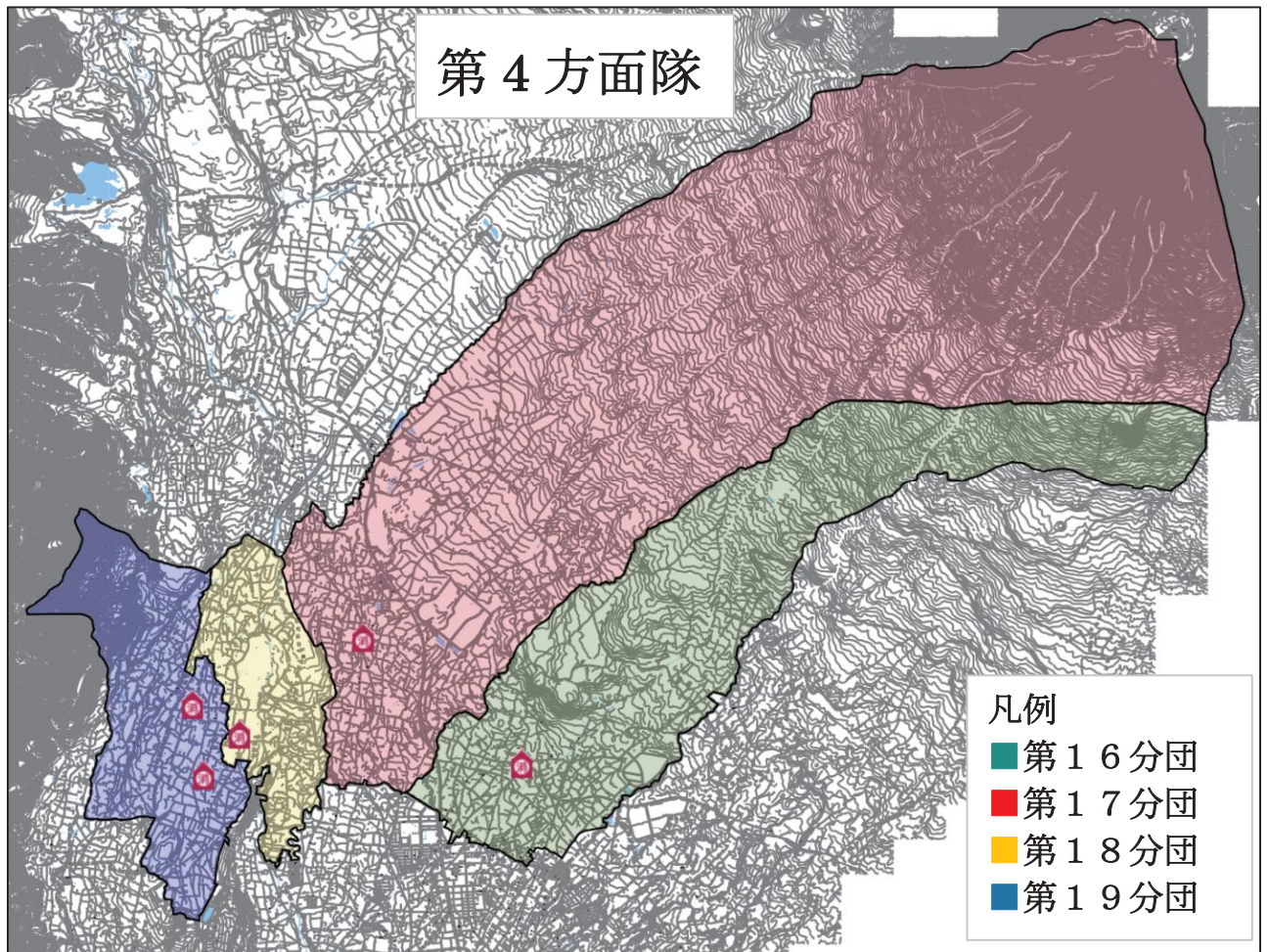


図19-1 第4方面隊分団詰所一覧

施設名称	第16分団			
所在地	山宮1591-3			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和57（1982）年6月			
経過年数	43年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	163.15㎡	
建築面積	41.30㎡	延床面積	77.63㎡	
特記事項	駐車場狭小			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成20年2月	経過年数	17年	
施設名称	第17分団			
所在地	北山1529-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和60（1985）年3月			
経過年数	40年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	178.24㎡	
建築面積	60.00㎡	延床面積	120.00㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車+資機材搬送車			
登録年月	平成24年1月	経過年数	13年	
施設名称	第18分団			
所在地	上条232-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	令和3（2021）年3月			
経過年数	4年			
構造	鉄骨造カラスステンレス鋼板横葺			
地上階	2階	敷地面積	298.82㎡	
建築面積	90.48㎡	延床面積	165.02㎡	
特記事項				
車両種別	普通消防ポンプ自動車+資機材搬送車			
登録年月	平成25年1月	経過年数	12年	
施設名称	第19分団（下条）			
所在地	下条139-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成31（2019）年3月			
経過年数	6年			
構造	鉄骨造カラスステンレス鋼板横葺			
地上階	2階	敷地面積	338.57㎡	
建築面積	90.48㎡	延床面積	165.02㎡	
特記事項	浸水想定区域内			
車両種別	水槽付(1,000ℓ)消防ポンプ自動車+資機材搬送車			
登録年月	平成31年2月	経過年数	6年	

図19-2 第4方面隊分団詰所一覧

施設名称	第19分団（妙蓮寺）		
所在地	下条719		
建物用途	詰所兼車庫		
建築年月	昭和56（1981）年3月		
経過年数	44年		
構造	鉄骨造折板葺		
地上階	1階	敷地面積	214.94㎡
建築面積	52.31㎡	延床面積	52.31㎡
特記事項	旧耐震基準、私有地(妙蓮寺)		
車両種別	小型動力ポンプ付積載車		
登録年月	平成26年2月	経過年数	11年



図20 第4方面隊 分団管轄人口推移

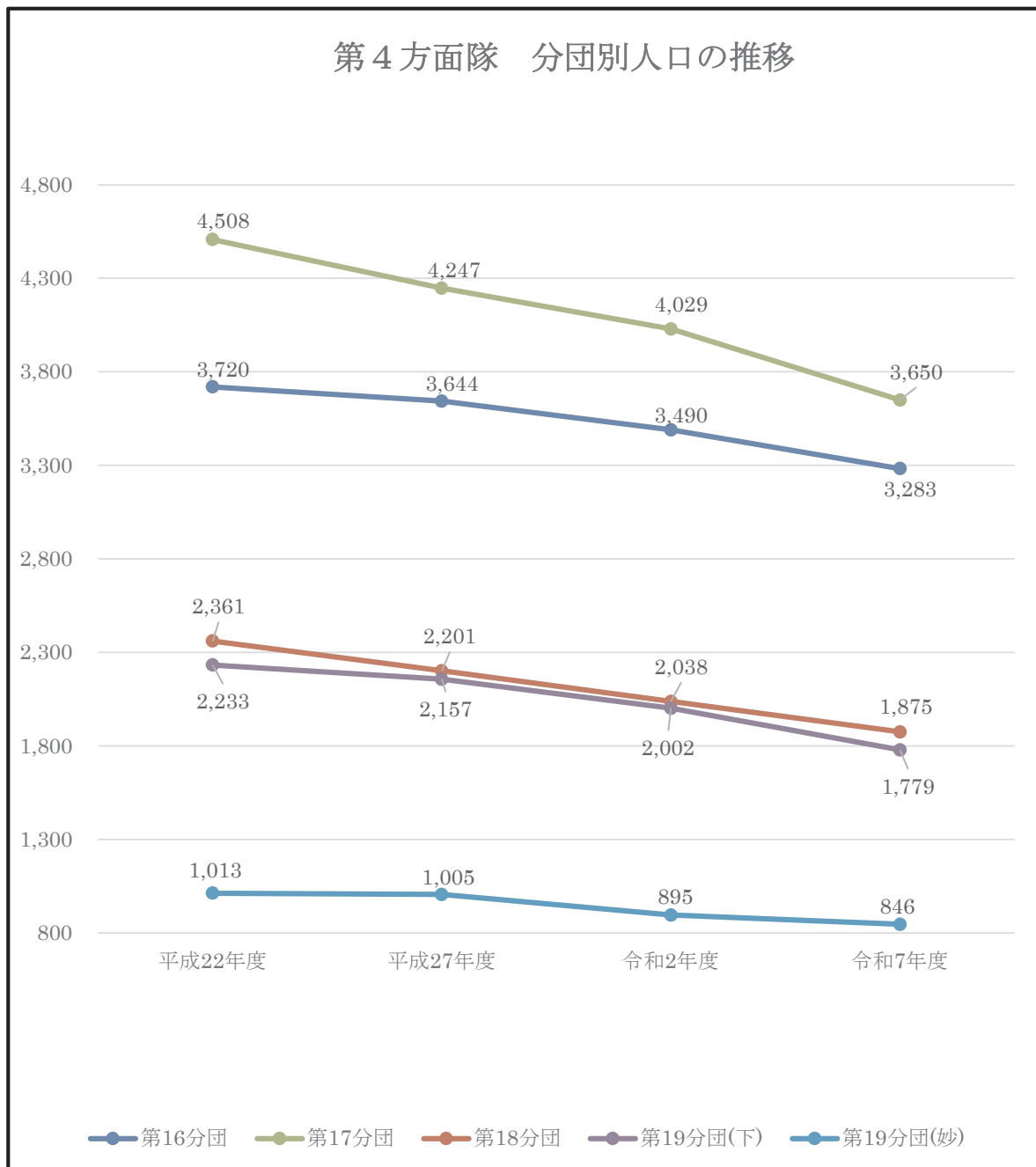


図21 第4方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第16分団			第17分団			第18分団			第19分団(下)			第19分団(妙)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	5,826	5,607	11,433	1,693	1,590	3,283	1,877	1,773	3,650	983	892	1,875	859	920	1,779	414	432	846
13	56	46	102	13	14	27	9	12	21	23	7	30	5	9	14	6	4	10
14	56	41	97	12	10	22	16	14	30	19	9	28	5	4	9	4	4	8
15	53	44	97	12	15	27	15	7	22	15	11	26	7	8	15	4	3	7
16	59	43	102	16	17	33	13	12	25	18	10	28	6	3	9	6	1	7
17	62	53	115	12	15	27	15	19	34	22	8	30	8	7	15	5	4	9
18	50	44	94	15	12	27	13	17	30	9	6	15	8	6	14	5	3	8
19	43	42	85	14	11	25	14	11	25	6	8	14	7	6	13	2	6	8
20	53	35	88	24	11	35	16	13	29	9	4	13	3	4	7	1	3	4
21	60	43	103	29	15	44	13	14	27	10	10	20	6	2	8	2	2	4
22	58	51	109	26	14	40	15	20	35	8	3	11	8	10	18	1	4	5
23	69	45	114	19	8	27	19	14	33	20	10	30	9	8	17	2	5	7
24	59	34	93	27	13	40	17	15	32	9	1	10	5	2	7	1	3	4
25	53	41	94	24	8	32	16	17	33	6	6	12	7	5	12	0	5	5
26	54	45	99	11	15	26	26	17	43	7	5	12	9	8	17	1	0	1
27	72	45	117	23	15	38	22	20	42	12	7	19	11	2	13	4	1	5
28	53	35	88	21	10	31	21	10	31	7	10	17	3	4	7	1	1	2
29	49	28	77	21	5	26	18	13	31	3	4	7	6	5	11	1	1	2
30	59	31	90	16	10	26	28	9	37	4	5	9	7	4	11	4	3	7
31	62	34	96	21	8	29	16	16	32	14	4	18	9	5	14	2	1	3
32	55	25	80	21	9	30	24	7	31	4	2	6	3	6	9	3	1	4
33	41	38	79	8	8	16	17	17	34	6	4	10	5	8	13	5	1	6
34	39	34	73	14	14	28	10	7	17	6	6	12	5	5	10	4	2	6
35	47	39	86	12	11	23	19	16	35	7	6	13	8	3	11	1	3	4
36	53	52	105	16	11	27	19	23	42	11	9	20	5	7	12	2	2	4
37	54	40	94	20	19	39	13	9	22	9	4	13	10	5	15	2	3	5
計	1,369	1,008	2,377	447	298	745	424	349	773	264	159	423	165	136	301	69	66	135
潜在 %	<b>23</b>	<b>18</b>	<b>21</b>	<b>26</b>	<b>19</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>20</b>	<b>21</b>	<b>27</b>	<b>18</b>	<b>23</b>	<b>19</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>17</b>	<b>15</b>	<b>16</b>

## 1 現状と課題

4方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	99.56km <sup>2</sup>	126人	118人	▲8	93.65%

分団(班)	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団・班)	課題	詰所方針	方針及び計画
16分団	22.02km <sup>2</sup>	30人	29(2)	▲1	96.67%	・詰所老朽化 ・駐車場狭小	長寿命化	
17分団	63.68km <sup>2</sup>	43人	40(3)	▲3	93.02%	・団員確保 ・詰所老朽化、狭小	長寿命化	
18分団	5.38km <sup>2</sup>	23人	21(2)	▲2	91.30%	・団員確保		
19分団 (下条)	6.11km <sup>2</sup>	18人	21(0)	3	116.67%			
19分団 (妙蓮寺)	2.37km <sup>2</sup>	12人	7(2)	▲5	58.33%	・団員不足 ・旧耐震基準		

## (1) 現状 (団員数)

第4方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数126人に対し実員118人、充足率93.65%で、市内の平均を上回る充足率となっています。

## (2) 現状 (詰所)

第18分団、第19分団(下条)を除く各分団(班)詰所は、建築から40年以上が経過している状況です。特に、19分団(妙蓮寺)詰所は、旧耐震基準となっています。また、第16分団及び第17分団は、団員数に対して詰所の規模が手狭な状況です。第17分団については、3班あったのを集約した経緯があります。

## (3) 課題等

ア 分団(班)によっては団員不足が深刻となっており、今後5年間における潜在団員数も著しく低いところがあります。

イ 管轄区域が広く、山林も抱えているため、山林火災にも対応できるよう団員数を多く確保する必要があります。

ウ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

---

### (1) 第16分団

ア 現状、基準数を1人下回る団員数となっており、比較的良好な状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均以上の水準です。

イ 詰所が、建築から43年以上経過し、老朽化が進んでいます。また、団員数に対して詰所の規模が手狭です。

### (2) 第17分団

ア 現状、基準数を3人下回る団員数となっていますが、基準数が多いことを考慮すると比較的良好な状況です。今後5年間における潜在団員数は、市内平均とほぼ同等の水準です。

イ かつては3班で活動していたところを集約した経緯から、団員数に対して詰所の規模が手狭です。

### (3) 第18分団

現状、基準数を2人下回る団員数となっていますが、概ね良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数は市内平均以下の水準となっています。

### (4) 第19分団(下条)

現状、基準数を3人上回る団員数となっており、良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数は、市内平均以下の水準となっています。

### (5) 第19分団(妙蓮寺)

現状、基準数を5人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内最低水準であり、今後も団員の確保に苦慮することが予想されます。

### 3. 今後の再編方針

第16分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、詰所建築から43年以上が経過していることから、長寿命化工事を実施するか移転建替えをするかの検討をしていく必要があります。

第17分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、詰所建設から40年以上が経過していることから、長寿命化工事等を検討する必要があります。

第18分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後5年間における潜在団員数は低水準であることから、引き続き積極的な団員確保に努める必要があります。

第19分団(下条)と第19分団(妙蓮寺)については、統合の必要性があります。既に同一分団であり、両班とも小学校区及び中学校区が重複していることから、妥当であると考えます。また、第19分団(妙蓮寺)詰所は、建築から44年以上が経過しており、旧耐震基準となっていることから、早急に統合を行う必要があります。

#### (1) 第16分団詰所について

建築から43年以上が経過していることから、長寿命化工事を実施する必要があります。ただし、現在、駐車場の確保に苦慮していることから、移転建替えも選択肢の一つとして検討していくこととします。

#### (2) 第17分団詰所について

建築から40年以上が経過していることから、長寿命化工事を検討する必要があります。

#### (3) 第19分団(下条)と第19分団(妙蓮寺)の統合について

ア 統合に向けた協議を早急を実施するものとします。

イ 第19分団(下条)詰所については、築浅であり、規模も比較的大きいことから、同詰所を拠点として使用することとし、第19分団(妙蓮寺)詰所については、廃止することとします。

ウ 団員数については、基本方針で定めた基準の20人とします。ただし、機能別団員数が5人と全団員数の4分の1を占め、今後5年間における潜在団員数も著しく低水準であることから、団員確保に向けた対策の検討と施策の実施を行っていきます。

エ 車両については、将来的に消防ポンプ自動車1台と資機材搬送車1台の2台体制に変更いたします。ただし、現在、第19分団(妙蓮寺)に配備している小型動力ポンプ付積載車が配備から11年であることから、今後の使用の有無も含めた活用方法について検討していきます。

オ 分団の名称については、第19分団とします。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

4 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	99.56km <sup>2</sup>	126 人	118 人	▲8	93.65%



再編後

4 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	99.56km <sup>2</sup>	116 人	118 人	2	101.72%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
16 分団	22.02km <sup>2</sup>	30 人	29 人 (2)	▲1	96.67%	・ 詰所老朽化 ・ 駐車場狭小
17 分団	63.68km <sup>2</sup>	43 人	40 人 (3)	▲3	93.02%	・ 団員確保 ・ 詰所老朽化
18 分団	5.38km <sup>2</sup>	23 人	21 人 (2)	▲2	91.30%	
19 分団 (下条)	6.11km <sup>2</sup>	18 人	21 人 (0)	3	116.67%	
19 分団 (妙蓮寺)	2.37km <sup>2</sup>	12 人	7 人 (2)	▲5	58.33%	・ 団員不足 ・ 詰所老朽化、旧耐震基準



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
16 分団	22.02km <sup>2</sup>	30 人	29 人 (2)	▲1	96.67%	・ 長寿命化等の検討
17 分団	63.68km <sup>2</sup>	43 人	40 人 (3)	▲3	93.02%	・ 長寿命化等の検討
18 分団	5.38km <sup>2</sup>	23 人	21 人 (2)	▲2	91.30%	
19 分団	8.48km <sup>2</sup>	20 人	28 人 (2)	8	140.00%	・ 班の統合

VII 第5方面隊

図2-2 第5方面隊分団詰所配置図

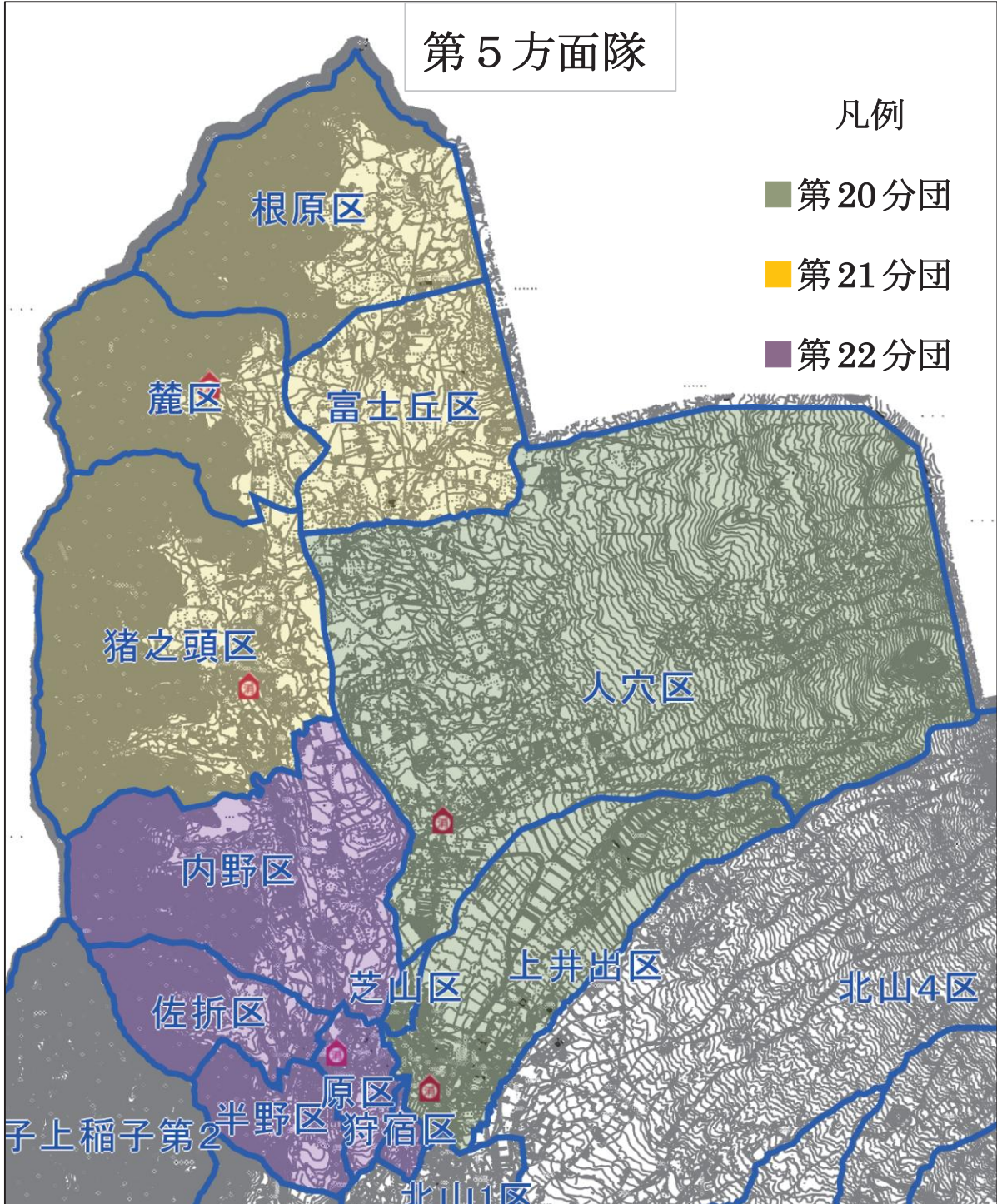


図23-1 第5方面隊分団詰所一覧

施設名称	第20分団（上井出）			
所在地	上井出603-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和59（1984）年3月			
経過年数	41年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	863.11㎡	
建築面積	89.30㎡	延床面積	162.10㎡	
特記事項				
車両種別	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車			
登録年月	平成29年1月	経過年数	8年	
施設名称	第20分団（人穴）			
所在地	人穴383-2			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和60（1985）年11月			
経過年数	39年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	1階	敷地面積	190.05㎡	
建築面積	52.30㎡	延床面積	52.30㎡	
特記事項				
車両種別	小型動力ポンプ付積載車			
登録年月	平成16年2月	経過年数	21年	
施設名称	第20分団（芝山）			
所在地	上井出880-2			
建物用途	機具置場			
建築年月	昭和56（1981）年3月			
経過年数	44年			
構造	木造トタン葺			
地上階	1階	敷地面積	19.87㎡	
建築面積	19.87㎡	延床面積	19.87㎡	
特記事項	旧耐震基準、私有地、浸水想定区域内			
車両種別	B3級小型動力ポンプ（台車付）			
登録年月	平成18年11月	経過年数	18年	
施設名称	第20分団（東）			
所在地	上井出2233-3			
建物用途	機具置場			
建築年月	昭和50（1975）年3月			
経過年数	50年			
構造	ブロック造トタン葺			
地上階	1階	敷地面積	25.11㎡	
建築面積	25.11㎡	延床面積	25.11㎡	
特記事項	旧耐震基準			
車両種別	B3級小型動力ポンプ（台車付）			
登録年月	平成12年7月	経過年数	25年	

図23-2 第5方面隊分団詰所一覧

施設名称	第21分団（猪之頭）		
所在地	猪之頭217-7		
建物用途	詰所兼車庫		
建築年月	昭和58（1983）年3月		
経過年数	42年		
構造	鉄骨造折板葺		
地上階	2階	敷地面積	304.00㎡
建築面積	73.22㎡	延床面積	146.44㎡
特記事項	浸水想定区域内、新詰所建設中		
車両種別	普通消防ポンプ自動車+資機材搬送車		
登録年月	平成22年2月	経過年数	15年
施設名称	第21分団（麓）		
所在地	麓61		
建物用途	車庫		
建築年月	昭和60（1985）年11月		
経過年数	39年		
構造	木造トタン葺		
地上階	1階	敷地面積	不明
建築面積	19.87㎡	延床面積	19.87㎡
特記事項			
車両種別	小型動力ポンプ付積載車（軽四輪）		
登録年月	平成29年1月	経過年数	8年
施設名称	第21分団（富士丘）		
所在地	根原341-1		
建物用途	機具置場		
建築年月	昭和30（1955）年頃		
経過年数	70年		
構造	ブロック造		
地上階	1階	敷地面積	不明
建築面積	6.3㎡	延床面積	6.3㎡
特記事項	旧耐震基準、区有地		
車両種別	B3級小型動力ポンプ		
登録年月	平成26年10月	経過年数	11年
施設名称	第21分団（根原）		
所在地	根原572		
建物用途	機具置場		
建築年月	昭和56（1981）年3月		
経過年数	44年		
構造	ブロック造折板葺		
地上階	1階	敷地面積	不明
建築面積	8.16㎡	延床面積	8.16㎡
特記事項	区所有の可搬のみ存置、旧耐震基準		
車両種別	—		
登録年月	—	経過年数	—



図23-3 第5方面隊分団詰所一覧

施設名称	第22分団（原）			
所在地	原1114-6			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和63（1988）年3月			
経過年数	37年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	2階	敷地面積	224.40㎡	
建築面積	72.75㎡	延床面積	145.50㎡	
特記事項	浸水想定区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車+資機材搬送車			
登録年月	平成22年2月	経過年数	15年	
施設名称	第22分団（足形）			
所在地	内野1030-5			
建物用途	機具置場			
建築年月	昭和43（1968）年			
経過年数	57年			
構造	ブロック造			
地上階	1階	敷地面積	不明	
建築面積	9.03㎡	延床面積	9.03㎡	
特記事項	浸水想定区域内、旧耐震基準			
車両種別	なし			
登録年月	—	経過年数	—	
施設名称	第22分団（川久保）			
所在地	内野339			
建物用途	機具置場			
建築年月	平成9（1997）年3月			
経過年数	28年			
構造	鉄筋コンクリート造			
地上階	1階	敷地面積	不明	
建築面積	6.3㎡	延床面積	6.3㎡	
特記事項	浸水想定区域内、収容物なし			
車両種別	—			
登録年月	—	経過年数	—	
施設名称	第22分団（横手沢）			
所在地	内野22-1			
建物用途	機具置場			
建築年月	昭和44（1969）年4月			
経過年数	56年			
構造	ブロック造			
地上階	1階	敷地面積	不明	
建築面積	9.76㎡	延床面積	9.76㎡	
特記事項	浸水想定区域内、収容物なし			
車両種別	—			
登録年月	—	経過年数	—	

図 2 3 - 4 第5方面隊分団詰所一覧

施設名称	第22分団（狩宿）		
所在地	狩宿78-4		
建物用途	機具置場		
建築年月	昭和48（1973）年		
経過年数	52年		
構造	ブロック造		
地上階	1階	敷地面積	不明
建築面積	6.12㎡	延床面積	6.12㎡
特記事項	収容物なし		
車両種別	なし		
登録年月	—	経過年数	—



図2.4 第5方面隊 分団管轄人口推移

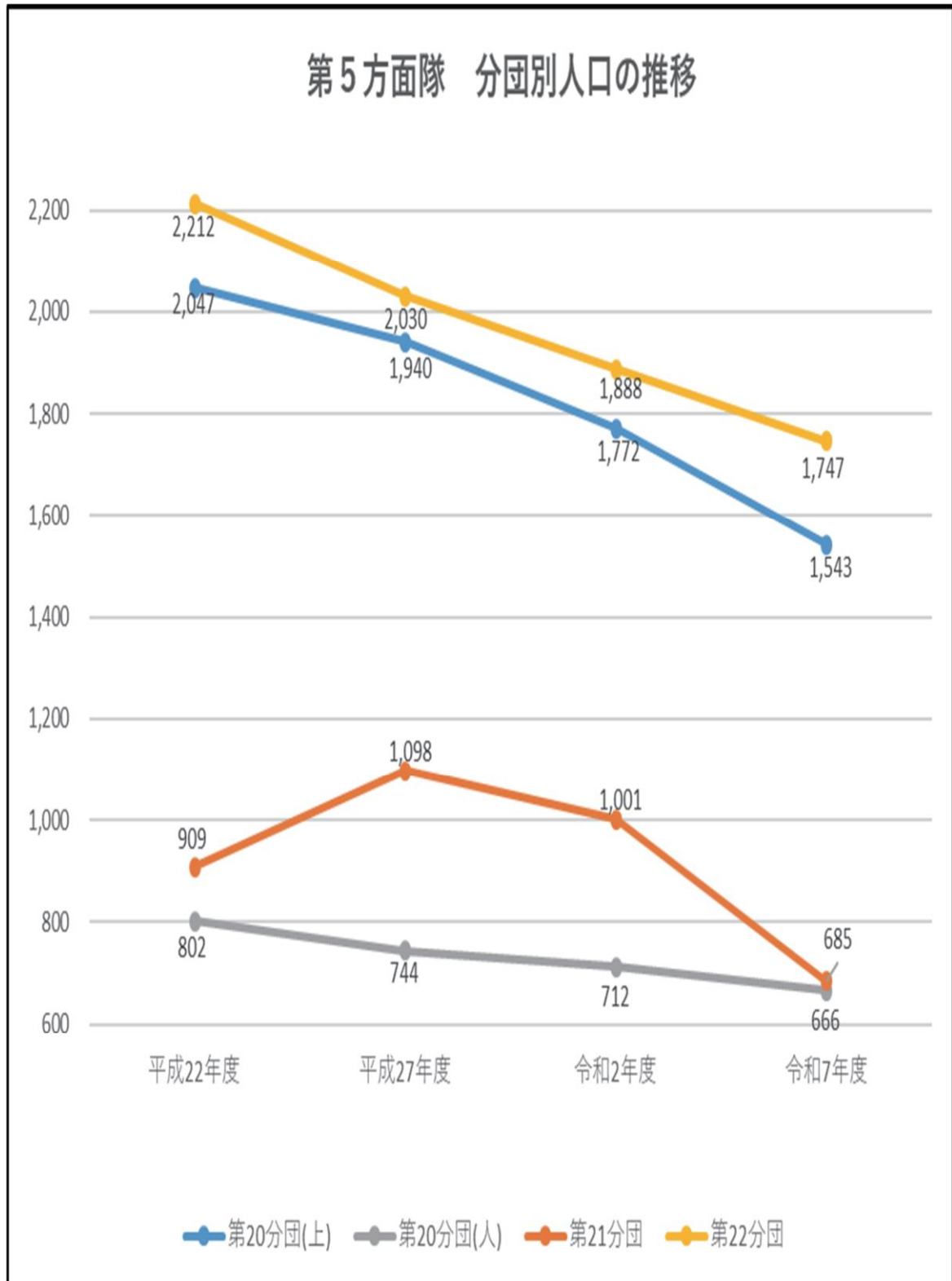


図25 第5方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第20分団(上)			第20分団(人)			第21分団			第22分団		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	2,512	2,408	4,920	772	771	1,543	352	314	666	522	442	964	866	881	1,747
13	15	18	33	6	5	11	2	3	5	2	5	7	5	5	10
14	18	9	27	5	3	8	2	1	3	2	4	6	9	1	10
15	24	18	42	8	1	9	6	2	8	2	4	6	8	11	19
16	18	19	37	4	5	9	0	1	1	7	2	9	7	11	18
17	23	20	43	6	7	13	2	4	6	3	1	4	12	8	20
18	23	16	39	7	3	10	2	1	3	4	3	7	10	9	19
19	27	22	49	3	4	7	4	2	6	13	3	16	7	13	20
20	38	19	57	13	6	19	7	4	11	9	2	11	9	7	16
21	30	21	51	10	6	16	4	4	8	10	2	12	6	9	15
22	27	22	49	9	8	17	3	3	6	7	4	11	8	7	15
23	25	12	37	8	6	14	3	3	6	9	0	9	5	3	8
24	16	12	28	5	4	9	0	3	3	7	1	8	4	4	8
25	28	12	40	9	7	16	5	0	5	8	0	8	6	5	11
26	19	13	32	2	5	7	2	1	3	6	2	8	9	5	14
27	28	10	38	7	4	11	5	1	6	8	2	10	8	3	11
28	27	11	38	7	4	11	6	4	10	4	1	5	10	2	12
29	21	16	37	5	6	11	4	3	7	7	4	11	5	3	8
30	22	13	35	2	3	5	7	2	9	6	3	9	7	5	12
31	21	15	36	9	7	16	0	2	2	3	1	4	9	5	14
32	13	13	26	4	3	7	3	2	5	4	4	8	2	4	6
33	14	13	27	4	3	7	1	3	4	2	4	6	7	3	10
34	19	12	31	8	5	13	1	1	2	6	0	6	4	6	10
35	18	11	29	5	2	7	5	2	7	2	0	2	6	7	13
36	19	17	36	6	5	11	2	4	6	4	3	7	7	5	12
37	25	21	46	11	8	19	8	5	13	3	1	4	3	7	10
計	558	385	943	163	120	283	84	61	145	138	56	194	173	148	321
潜在 %	<b>22</b>	<b>16</b>	<b>19</b>	<b>21</b>	<b>16</b>	<b>18</b>	<b>24</b>	<b>19</b>	<b>22</b>	<b>26</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>17</b>	<b>18</b>

## 1. 現状と課題

5方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	134.84km <sup>2</sup>	105人	107人	2	101.90%

分団 (班)	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団・班)	課題	詰所方針	方針及び計画
20分団 (上井出)	12.85km <sup>2</sup>	18人	24(2)	6	133.33%			・使用していない機具置場は、 順次撤去。 ・長寿命化済み
20分団 (人穴)	47.91km <sup>2</sup>	12人	9(1)	▲3	75.00%	・団員確保 ・詰所老朽化	長寿命化	
21分団	50.46km <sup>2</sup>	45人	41(2)	▲4	91.11%	・団員確保 ・浸水想定区域内	移転建替え	・現在詰所建設中 ・使用していない機具置場は、 順次撤去。
22分団	23.62km <sup>2</sup>	30人	33(2)	3	110.00%	・浸水想定区域内	長寿命化	・使用していない機具置場は、 順次撤去。

## (1) 現状 (団員数)

第5方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数105人に対し実員107人、充足率101.90%で、高い充足率となっています。

## (2) 現状 (詰所)

第20分団(人穴)、第22分団詰所は、建築から40年近く経過している状況です。

第5方面隊は、老朽化が進んだ器具置場が多く点在しています。

なお、第20分団(上井出)詰所は、平成31年度に長寿命化工事を実施しており、第21分団詰所は、現在、新築工事を実施中です。

## (3) 課題等

ア 分団(班)によっては団員不足が生じており、今後5年間における潜在団員数も著しく低いところがあります。

イ 管轄区域が広く、山林も抱えているため、山林火災にも対応できるよう団員数を多く確保する必要があります。

ウ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

### (1) 第20分団(上井出)

ア 現状、基準数を6人上回る団員数となっており、良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均を大きく下回る水準となっています。

人口に対して団員数が安定して確保できていることから、比較的団員を確保しやすい地域性があると推察されます。

イ 詰所が、建築から41年以上経過していますが、平成31年度に長寿命化工事を実施済みです。

ウ 上井出地区に2か所の機具置場があり、昭和56年5月以前の建物になります。

### (2) 第20分団(人穴)

ア 現状、基準数を3人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も市内平均を大きく下回っており、将来的に消防団活動を維持するだけの団員の確保が困難になることが懸念されます。

イ 詰所については、建築から39年以上が経過しており老朽化が進んでいます。

ウ 車両については、配備から21年以上が経過しており、早急な更新が必要となります。

### (3) 第21分団

ア 現状、基準数を4人下回る団員数ですが、基準数が多いことを考慮すると、概ね良好な状況といえます。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均を大きく下回る水準です。人口に対して団員数は安定して確保できていることから、比較的団員を確保しやすい地域性があると推察されます。

イ 現在、新詰所を建設中です。

ウ 老朽化が進んだ機具置場が2棟あります。

### (4) 第22分団

ア 現状、基準数を3人上回る団員数となっており、良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均を大きく下回る水準です。人口に対

して団員数は安定して確保できていることから、比較的団員を確保しやすい地域性があると推察されます。

イ 詰所については、建築から37年以上が経過しています。浸水想定区域内（0.5m未満）にも入っていることから、今後移転建替え又は長寿命化工事の検討が必要となります。

ウ 老朽化が進んだ機具置場が4棟あります。

### 3. 今後の再編方針

第20分団(上井出)と第20分団(人穴)については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後の人口減少や団員減少を考慮しながら、将来的な統合について継続的に調査研究していきます。また、機具置場については、地域とも協議の上、解体する方向で進めていきます。

第21分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後5年間における潜在団員数は低水準であることから、引き続き積極的な団員確保に努める必要があります。また、機具置場については、地域とも協議の上、解体する方向で進めていきます。

第22分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、詰所の老朽化が進んでいることから、長寿命化工事の検討を進めていくものとします。

#### (1) 第20分団(上井出)及び第20分団(人穴)について

ア 統合については、今後の人口減少や団員減少など社会情勢を考慮しながら継続的に調査研究していきます。

イ 機具置場は、原則解体するものとします。

#### (2) 第22分団について

長寿命化工事の検討を実施していきます。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

5 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	134.84km <sup>2</sup>	105 人	107 人	2	101.90%



再編後

5 方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	134.84km <sup>2</sup>	105 人	107 人	2	101.90%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
20 分団 (上井出)	12.85km <sup>2</sup>	18 人	24 人 (2)	6	133.33%	・長寿命化済み
20 分団 (人穴)	47.91km <sup>2</sup>	12 人	9 人 (1)	▲ 3	75.00%	・詰所老朽化
21 分団	50.46km <sup>2</sup>	45 人	41 人 (2)	▲ 4	91.11%	・現在、詰所建設中
22 分団	23.62km <sup>2</sup>	30 人	33 人 (2)	3	110.00%	・浸水想定区域内



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
20 分団 (上井出)	12.85km <sup>2</sup>	18 人	24 人 (2)	6	133.33%	
20 分団 (人穴)	47.91km <sup>2</sup>	12 人	9 人 (1)	▲ 3	75.00%	・団員確保
21 分団	50.46km <sup>2</sup>	45 人	41 人 (2)	▲ 4	91.11%	・使用していない機具置場の解体
22 分団	23.62km <sup>2</sup>	30 人	33 人 (2)	3	110.00%	・長寿命化工事の検討 ・使用していない機具置場の解体

VIII 第6方面隊

図2.6 第6方面隊分団詰所配置図

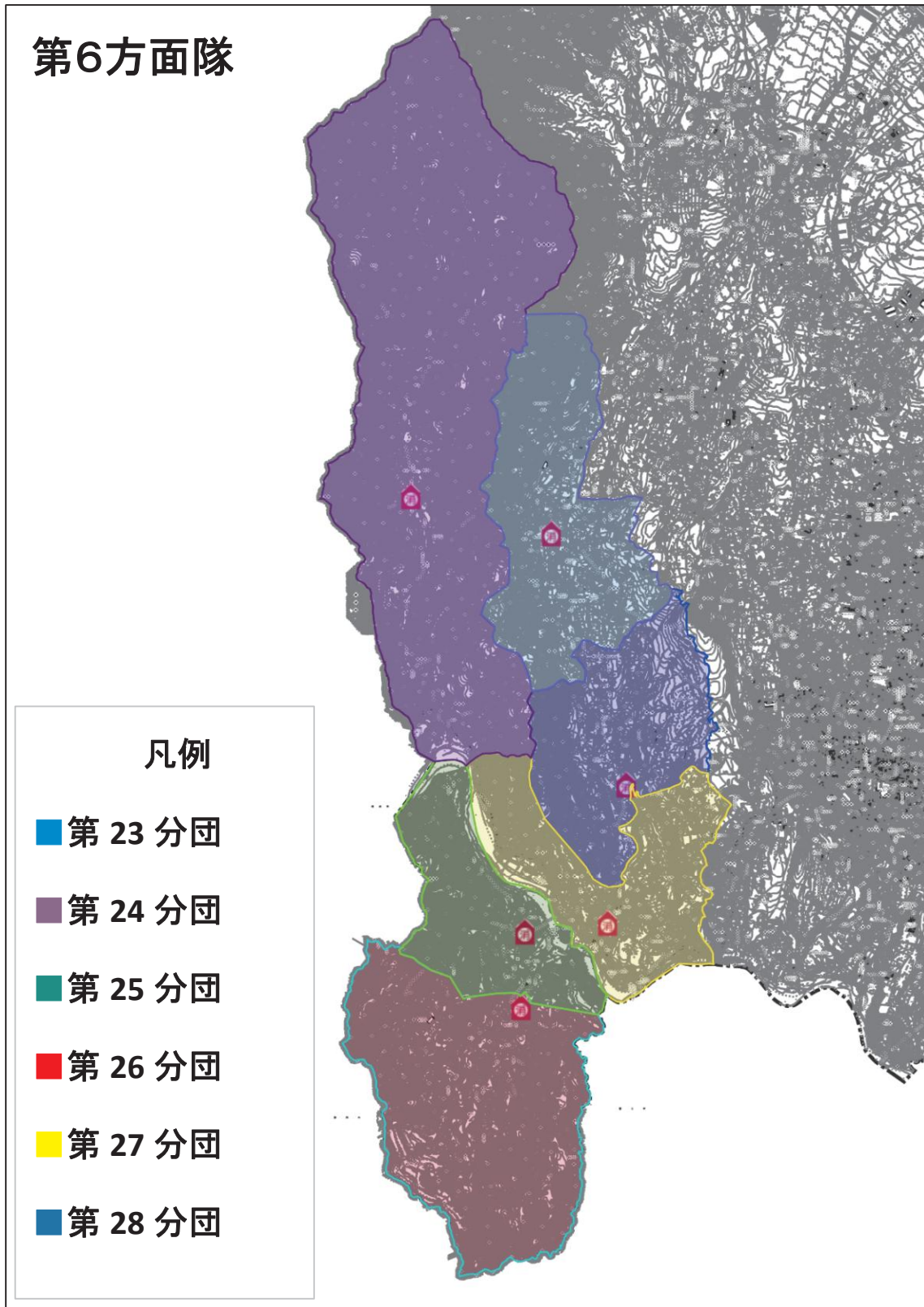


図27-1 第6方面隊分団詰所一覧

施設名称	第23分団			
所在地	下袖野336-1			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成17(2005)年12月			
経過年数	19年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	1階	敷地面積	387.48㎡	
建築面積	76.58㎡	延床面積	76.58㎡	
特記事項	土砂災害警戒区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和6年2月	経過年数	1年	
施設名称	第24分団			
所在地	上稲子3850-8			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成13(2001)年1月			
経過年数	24年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	45.87㎡	
建築面積	39.59㎡	延床面積	79.18㎡	
特記事項	浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成26年11月	経過年数	10年	
施設名称	第25分団			
所在地	内房3142-2			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	昭和61(1986)年1月			
経過年数	39年			
構造	鉄骨造折板葺			
地上階	1階	敷地面積	245.48㎡	
建築面積	77.40㎡	延床面積	77.40㎡	
特記事項	浸水想定区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成21年12月	経過年数	15年	
施設名称	第26分団			
所在地	内房4058-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成10(1998)年12月			
経過年数	26年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	23.00㎡	
建築面積	39.65㎡	延床面積	79.29㎡	
特記事項	浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	令和4年1月	経過年数	3年	

図 2 7 - 2 第 6 方面隊分団詰所一覧

施設名称	第27分団			
所在地	長貫1217-2			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成17(2005)年3月			
経過年数	20年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	102.26㎡	
建築面積	38.70㎡	延床面積	77.40㎡	
特記事項				
車両種別	水槽付(1,000ℓ)消防ポンプ自動車			
登録年月	令和3年3月	経過年数	4年	
施設名称	第28分団			
所在地	西山1388-4			
建物用途	詰所兼車庫			
建築年月	平成18(2006)年2月			
経過年数	19年			
構造	鉄骨造アスファルトシングル葺			
地上階	2階	敷地面積	131.00㎡	
建築面積	38.70㎡	延床面積	77.40㎡	
特記事項	近隣に駐車場借用			
車両種別	普通消防ポンプ自動車			
登録年月	平成25年1月	経過年数	12年	

図28 第6方面隊 分団管轄人口推移

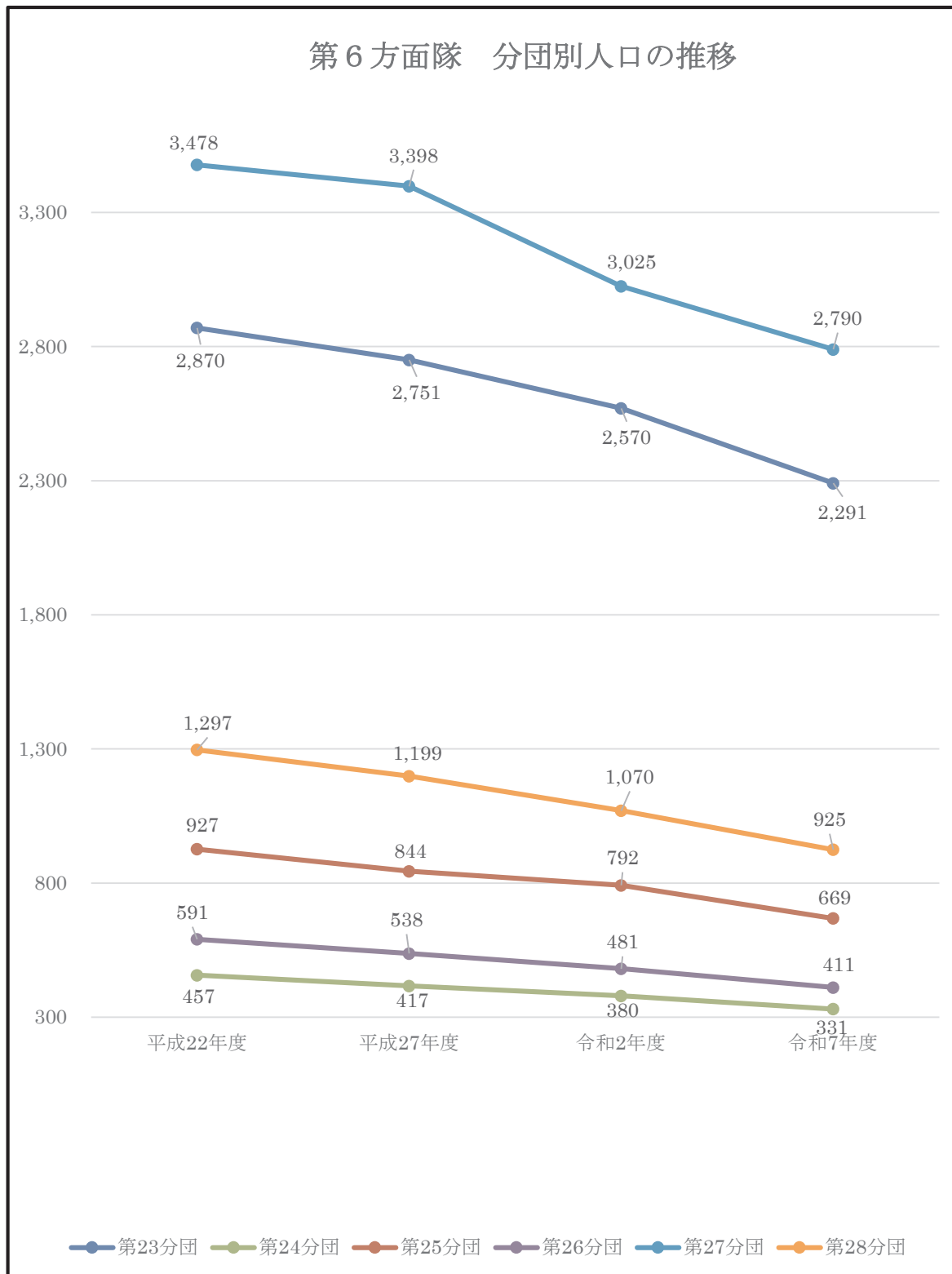


図29 第6方面隊 今後5年間の潜在団員数

令和7年4月1日時点

年齢	全地区			第23分団			第24分団			第25分団			第26分団			第27分団			第28分団		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全	3,633	3,784	7,417	1,101	1,190	2,291	166	165	331	334	335	669	208	203	411	1,376	1,414	2,790	448	477	925
13	33	27	60	12	10	22	2	3	5	3	3	6	2	1	3	10	8	18	4	2	6
14	33	35	68	11	13	24	0	2	2	2	1	3	2	0	2	13	18	31	5	1	6
15	30	32	62	16	12	28	1	0	1	2	4	6	1	3	4	8	9	17	2	4	6
16	39	33	72	14	16	30	1	2	3	4	1	5	0	3	3	18	9	27	2	2	4
17	30	33	63	16	11	27	1	0	1	2	5	7	0	0	0	10	15	25	1	2	3
18	35	29	64	10	11	21	2	0	2	4	1	5	2	3	5	14	12	26	3	2	5
19	32	26	58	11	10	21	0	0	0	3	2	5	1	0	1	12	11	23	5	3	8
20	18	30	48	8	11	19	0	3	3	2	0	2	1	1	2	5	13	18	2	2	4
21	47	23	70	16	9	25	1	1	2	5	1	6	2	2	4	20	7	27	3	3	6
22	26	20	46	5	11	16	1	0	1	2	1	3	1	1	2	15	5	20	2	2	4
23	19	20	39	8	6	14	0	0	0	3	4	7	0	0	0	7	8	15	1	2	3
24	20	17	37	5	4	9	0	0	0	4	0	4	4	2	6	6	10	16	1	1	2
25	21	13	34	6	3	9	0	0	0	0	2	2	1	0	1	9	6	15	5	2	7
26	22	17	39	8	8	16	1	0	1	2	2	4	1	0	1	7	6	13	3	1	4
27	18	15	33	4	4	8	0	0	0	3	0	3	2	1	3	7	8	15	2	2	4
28	23	19	42	5	2	7	1	0	1	2	2	4	1	1	2	12	11	23	2	3	5
29	12	16	28	2	3	5	1	1	2	1	2	3	0	1	1	4	5	9	4	4	8
30	26	26	52	7	13	20	2	1	3	4	1	5	1	0	1	9	8	17	3	3	6
31	16	19	35	4	2	6	0	0	0	1	2	3	2	0	2	7	14	21	2	1	3
32	32	12	44	9	3	12	1	0	1	2	2	4	0	0	0	16	6	22	4	1	5
33	30	25	55	10	4	14	2	1	3	0	4	4	3	1	4	10	13	23	5	2	7
34	22	25	47	7	8	15	1	0	1	2	2	4	3	1	4	5	13	18	4	1	5
35	16	21	37	5	5	10	0	1	1	1	2	3	0	2	2	9	11	20	1	0	1
36	34	26	60	9	10	19	1	2	3	4	2	6	2	0	2	12	10	22	6	2	8
37	34	24	58	10	8	18	6	2	8	6	4	10	0	1	1	10	8	18	2	1	3
計	668	583	1,251	218	197	415	25	19	44	64	50	114	32	24	56	255	244	499	74	49	123
潜在 %	18	15	17	20	17	18	15	12	13	19	15	17	15	12	14	19	17	18	17	10	13

1. 現状と課題

6方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	74.30km <sup>2</sup>	140人	125人	▲15	89.29%

分団 (班)	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団・班)	課題	詰所方針	方針及び計画
23分団	10.15km <sup>2</sup>	30人	25(2)	▲5	83.33%	・土砂災害警戒区域内 ・団員確保		
24分団	28.71km <sup>2</sup>	15人	12(2)	▲3	80.00%	・団員確保 ・浸水想定区域内 ・土砂災害警戒区域内		
25分団	6.36km <sup>2</sup>	25人	26(0)	1	104.00%	・浸水想定区域内 ・詰所老朽化	長寿命化又は 移転建替え	
26分団	13.33km <sup>2</sup>	20人	21(2)	1	105.00%	・土砂災害警戒区域内 ・浸水想定区域内	長寿命化又は 移転建替え	
27分団	7.84km <sup>2</sup>	20人	18(0)	▲2	90.00%	・団員確保		
28分団	7.91km <sup>2</sup>	30人	23(2)	▲7	76.67%	・団員確保		

(1) 現状 (団員数)

第6方面隊の団員数は、令和7年4月1日現在、基準数140人に対し実員125人、充足率89.29%で、市内平均を下回る充足率となっています。

(2) 現状 (詰所)

第27分団及び第28分団詰所を除き、土砂災害警戒区域又は浸水想定区域内に位置しています。また、第25分団詰所は、建築から39年以上が経過しています。

(3) 課題等

ア 分団(班)によっては団員不足が生じており、今後5年間における潜在団員数も著しく低いところがあります。

イ 管轄区域が広く、山林も抱えているため、山林火災にも対応できるよう団員数を多く確保する必要があります。また、第6方面隊全体として、土砂災害警戒区域や浸水想定区域も非常に多い地域となっています。

ウ 詰所は、団員の活動拠点であるため、活動環境を含め個別に長寿命化及び建替えの検討が必要であるが、公共施設管理計画や社会情勢を踏まえ計画を検討していく必要があります。

## 2. 個別評価

### (1) 第23分団

ア 現状、基準数を5人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数についても、市内平均を大きく下回る水準となっています。人口に対して団員数は安定して確保できていることから、比較的団員を確保しやすい地域性があると推察されます。

イ 詰所が、土砂災害警戒区域内に位置しています。

### (2) 第24分団

ア 現状、基準数を3人下回る団員数となっており、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数も、市内で最低水準であることから、近い将来、消防団活動を維持するだけの団員の確保が困難になることが懸念されます。

イ 詰所が浸水想定区域内（1.0m～3.0m未満）に位置しています。

ウ 詰所が、土砂災害警戒区域内に位置しています。

エ 第6方面隊の中で最も管轄面積が広く、詰所の位置も他の分団と距離があります。

### (3) 第25分団

ア 現状、基準数を1人上回る団員数となっており、良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数は、市内平均を大きく下回る水準であり、将来的に団員確保が困難になることが懸念されます。

イ 詰所が、浸水想定区域内（0.5m～1.0m未満）に位置しています。

ウ 詰所が、第26分団詰所と比較的近い位置にあります。

エ 詰所が、建築から39年以上経過し、老朽化が進んでいます。

### (4) 第26分団

ア 現状、基準数を1人上回る団員数となっており、良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数は、市内平均を大きく下回る水準であり、将来的に団員確保が困難になることが懸念されます。

イ 詰所が、浸水想定区域内（1.0m～3.0m 未満）に位置しています。

ウ 詰所が、土砂災害警戒区域内に位置しています。

エ 詰所が、第25分団詰所と比較的近い位置にあります。

オ 敷地面積が狭小です。

#### （5）第27分団

現状、基準数を2人下回る団員数となっておりますが、基本団員のみで運営できしており、比較的良好な状況です。一方、今後5年間における潜在団員数については、市内平均を大きく下回る水準であり、将来的には団員の確保に苦慮することが予想されます。

#### （6）第28分団

現状、基準数を7人下回る団員数となっておりますが、厳しい状況です。今後5年間における潜在団員数についても、市内平均を大きく下回る水準です。基準数が高いことから、直ちに消防団活動に支障を来す状況ではありませんが、将来的に団員確保が困難になることが懸念されます。

### 3. 今後の再編方針

第23分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後の団員数や人口減少等を考慮し、将来的な近隣分団との統合について、継続的に調査研究をしていきます。

第24分団、第25分団及び第26分団については、統合が必要です。特に第24分団については、既に平日日中の災害対応が困難な状況であることから、近隣分団との統合による出動体制の整備が必要です。ただし、急激な変化とならないよう、まずは1個分団3班体制とし、災害等に対して相互の迅速な出動体制の確保を図ります。なお、社会情勢や今後の団員数の動向を勘案しながら、将来的には1個分団1詰所の体制を目指していきます。

第27分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後の団員数や人口減少等を考慮し、将来的な近隣分団との統合について、継続的に調査研究をしていきます。

第28分団については、現状維持が妥当であると考えます。ただし、今後の団員数や人口減少等を考慮し、将来的な近隣分団との統合について、継続的に調査研究をし

ていきます。

(1) 第24分団、第25分団及び第26分団の統合について

ア 1個分団3班体制とし、詰所については、班体制の間は、現詰所を引き続き使用していくものとします。社会情勢等、今後の動向を勘案しながら、将来的な班の統合を視野に入れていきます。なお、班の統合を実施した場合の詰所については、管轄区域全域をカバーし、消防団の活動拠点として適した場所に移転建替えることも選択肢の一つとして検討していきます。

イ 団員の基準数については、分団内での相互連携が期待できることから、現在の基準数を減員し、基本計画に示す基準のとおりポンプ車1台につき15人とし、各班15人、分団全体で45人体制とします。ただし、統合により基準数を上回っても直ちに減員することなく、当面の間、現団員数で活動していくものとします。

ウ 車両については、現状のまま3台運用とします。

エ 分団の名称については、今後検討していくものとします。

(2) 第23分団、第27分団及び第28分団について

当面の間は現状維持の体制となりますが、今後の団員数や人口減少等を考慮し、将来的な近隣分団との統合について、継続的に調査研究をしていきます。

4 再編後の組織イメージ

方面隊

再編前

6方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	74.30km <sup>2</sup>	140人	125人	▲15	89.29%



再編後

6方面隊	管轄面積	基準数	実員	基準との差	充足率
	74.30km <sup>2</sup>	125人	125人	0	100.00%

分団

再編前

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
23分団	10.15km <sup>2</sup>	30人	25人 (2)	▲5	83.33%	・団員確保 ・土砂災害警戒区域内
24分団	28.71km <sup>2</sup>	15人	12人 (2)	▲3	80.00%	・団員確保 ・浸水想定区域内 ・土砂災害警戒区域内
25分団	6.36km <sup>2</sup>	25人	26人 (0)	1	104.00%	・浸水想定区域内 ・詰所老朽化
26分団	13.33km <sup>2</sup>	20人	21人 (2)	1	105.00%	・土砂災害警戒区域内 ・浸水想定区域内
27分団	7.84km <sup>2</sup>	20人	18人 (0)	▲2	90.00%	・団員確保
28分団	7.91km <sup>2</sup>	30人	23人 (2)	▲7	76.67%	・団員確保



再編後

分団	管轄面積	基準数	実員 (内機能別)	基準との差	充足率 (分団)	備考
23分団	10.15km <sup>2</sup>	30人	25人 (2)	▲5	83.33%	・団員確保 ・中長期的プランとして近隣分団との統合も検討
旧 24分団( 班)	28.71km <sup>2</sup>	15人	12人 (2)	▲3	80.00%	※統合(当面は3班体制) 将来的には班制を廃止し、 移転建替えも含めて検討
旧 25分団( 班)	6.36km <sup>2</sup>	15人	26人 (0)	11	173.33%	
旧 26分団( 班)	13.33km <sup>2</sup>	15人	21人 (2)	6	140.00%	
27分団	7.84km <sup>2</sup>	20人	18人 (0)	▲2	90.00%	・団員確保 ・中長期的プランとして近隣分団との統合も検討
28分団	7.91km <sup>2</sup>	30人	23人 (2)	▲7	76.67%	・団員確保 ・中長期的プランとして近隣分団との統合も検討

## IX 定年について

### 1. 現状と課題

現状、富士宮市消防団では、定年について、「富士宮市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例第9条」により基本団員は65歳、機能別団員については、70歳と定められています。国では、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として、令和元年12月13日付消防地第228号消防庁長官発出文書にて「本年4月1日現在、436（全体の約25%）の市町村において未だ定年制が設けられている。高齢化が進展している社会情勢や定年制の運用による消防団員数の減少に鑑み、当該市町村においては定年年齢の引上げ、制度撤廃について、条例改正その他必要な措置を検討すること。特に、定年年齢を60歳未満に設定している市町村においては、原則として、令和4年3月末日までにその状況を解消すること。」と通知しています。

今後、第2次ベビーブーム世代が65歳以上の高齢者となることで、富士宮市においても高齢化がさらに進展していくことが予想されており、令和22年には高齢化率が36.6%に達すると見込まれています。このような背景から、消防団員の確保が一段と厳しくなることが懸念されています。

なお、静岡県内全消防団の定年制度の状況について、図30に示します。

#### ※補足

富士宮市消防団には、第2次ベビーブーム世代の団員は、令和7年4月1日現在、100人所属しています。

### 2. 今後の方針

令和6年度まで退職報償金の勤務年数「30年以上」区分が上限であったが、令和7年4月1日から「35年以上」区分が新たに導入されました。このような背景も考慮した上で、引き続き定年延長について、調査研究していきます。

図30 静岡県内35消防団の定年制度の状況

支部	消防団	定年制度	備考
賀茂	東伊豆町消防団	※あり	条例により18～45歳。ただし、団長が認めればそれ以上も可。機能別団員は制限なし。今後、定年撤廃も検討中。
	河津町消防団	※あり	条例により18～50歳。ただし、団長が認めればそれ以上も可。
	下田市消防団	なし	
	南伊豆町消防団	※あり	条例により団長及び本部員を除き18～50歳。
	松崎町消防団	なし	令和6年度に定年制度を撤廃
	西伊豆町消防団	※あり	条例により18～55歳。ただし、必要がある時はそれ以上も可。
田方	熱海市消防団	※あり	条例により18～45歳未満。ただし、任命権者が認めた時はそれ以上も可。
	伊東市消防団	なし	
	三島市消防団	なし	
	伊豆の国市消防団	※あり	条例により18～55歳未満。ただし、任命権者が認めた場合はそれ以上も可。機能別団員については、65歳未満。
	伊豆市消防団	なし	35歳程度で退団。40歳超えて分団長として再入団。
駿東	函南町消防団	※あり	条例により18～45歳未満。ただし、任命権者が認めた時はそれ以上も可。
	沼津市消防団	なし	
	裾野市消防団	なし	
	御殿場市消防団	なし	要綱で機能別のみ65歳。
	長泉町消防団	なし	
	清水町消防団	なし	
富士	小山町消防団	なし	要綱で機能別団員のみ70歳。
	富士市消防団	あり	要綱で65歳。
静岡	富士宮市消防団	あり	条例で65歳。機能別団員は70歳。
	静岡市消防団	なし	
志太	藤枝市消防団	なし	
	焼津市消防団	なし	
	島田市消防団	なし	
榛原	牧之原市消防団	なし	
	吉田町消防団	なし	機能別団員のみ要綱で65歳。ただし、本人が望めばそれ以上も可。普通団員は、制限なし。
	川根本町消防団	なし	
小笠	掛川市消防団	なし	
	菊川市消防団	なし	
	御前崎市消防団	なし	
磐周	磐田市消防団	※あり	団の慣例にて分団長36歳。ただし、団本部員はそれ以上の年齢で団長等は、概ね2期～3期やることが多い。
	袋井市消防団	※あり	条例により団長以外の団員は18～35歳。ただし、団員減少に伴い団長が認める場合でそれ以上も可としている。
	森町消防団	※あり	条例により18～45歳。ただし、団員減少に伴い団長が認める場合でそれ以上も可としている。
西遠	浜松市消防団	なし	
	湖西市消防団	なし	

## X 新たな消防団員確保対策

### 1. 現状と課題

富士宮市消防団では、これまで広報ふじのみや等の広報誌への掲載、募集啓発ポスター及び各種消防イベントを活用しての団員募集等を行ってきました。さらに、国や県の施策も積極的に活用し、ふじのくに消防団応援連盟事業や消防団協力事業所表示制度（県税の特例に関する条例を含む）の啓発も実施してきました。しかしながら、全国的にも同様の状況ではありますが、消防団員の減少に歯止めがかからない状況となっています。また、人口減少に加え、若年層の価値観が変化していることに起因して、消防団に新規入団する若年層が減少し続けています。

### 2. 今後の具体的施策

上記のような状況から下記のとおり具体的施策について研究し、実施していきます。

#### (1) SNS媒体を活用した消防団員確保対策

若年層をターゲットに消防団の魅力を発信するために、インスタグラム等のSNSを活用した情報発信について、早期の実施に向けた調査研究を実施します。

#### (2) 市内高校の自動販売機への消防団の紹介掲示

市内高校に設置してある自動販売機に2次元バーコードを載せた消防団の広報ラッピング等を行い、直近で18歳以上になる層をターゲットに消防団の認知に努め、今後の入団へつなげます。

#### (3) 学生消防団活動認証制度の導入

若年層をターゲットに学生消防団活動認証制度導入に向けた調査研究を実施します。

#### (4) 富士宮市消防団応援の店事業の実施

地域全体で消防団を応援する機運を高め、消防団員の士気の高揚と消防団加入促進を図るため、消防団応援の店事業を実施いたします。

#### (5) 市内事業所への入団促進依頼

富士宮市中小企業振興懇話会等を通じて、当該事業所所属の従業員への消防団入団を働きかけます。また、機会を捉えて、郵便局をはじめとした多数の従業員を雇用する事業所に対しても、平日日中の災害対応の窮迫の実情を説明し、消防

団への加入促進を図ります。

(6) 消防団加入促進イベントの開催

市内の集客施設にて消防団加入促進イベントを開催します。また、当該施設のデジタルサイネージ等を活用して常時人の目につく広報を展開します。

(7) 新たな機能別団員の創設について、調査研究を実施していきます。

(8) 訓練の時期や回数等について見直しを行い、団員の負担軽減を図ります。

(9) 団本部に消防団員確保対策検討委員会を新設し、各方面隊から選出された委員も含め、消防団全体で危機感を共有するとともに、従来の広報及び募集方法等を抜本的に見直しながら、より効果的な施策を模索していきます。

図 3 1 再編後の組織イメージ (全体)



1本部28個分団19班制

1本部26個分団11班制

図32 富士宮市消防団方面隊および分団の名称並びに管轄区域(再編後)

現所属	管轄区域 ※第1出動区域	備考	
団本部	富士宮市全域		
第1方面隊	第1分団	咲花区・大和区・常磐区・田中区	
	第2分団	木の花区・城山区・ひばりが丘区・神田区・浅間区	
	第3分団	高嶺区・宮本区・二の宮区・福地区・琴平区・三園平区・神賀区・神立区	
	第4分団	貴船区・松山区・羽衣区・神田川区	
	第5分団	阿幸地区・舞々木区・富士見ヶ丘区・日の出区・瑞穂区・源道寺区	
	第8分団	万野1区・万野2区・万野3区・万野4区・万野希望区	
第2方面隊	第6分団	淀師区・淀橋区・青木区・外神区・宮原区・宮原1区・青木平区・外神東区	
	第7分団	大中里区	
	第9分団	野中1区・野中2区・野中3区・野中4区・星山2区	第11分団(星山)管轄の星山2区を新たに管轄
	第10分団	安居山1区・安居山2区・沼久保区	
	第11分団	黒田区・貴戸区・星山1区・山本区・高原区・高原1区・高原2区	第12分団(山本)との統合かつ第11分団(星山)管轄の内、星山1区を管轄。
第3方面隊	第12分団	小泉1区・小泉2区・小泉3区・小泉4区・小泉5区・小泉6区	第12分団(小泉)と第14分団(小泉)の統合。ただし、区割りの変更を行い、上小泉区を第14分団(大岩)へ。
	第13分団	杉田1区・杉田2区・杉田3区・杉田4区・杉田5区・杉田6区	
	第14分団	上小泉区・大岩1区・大岩2区・大岩3区	第14分団(小泉)の管轄の内、上小泉区を新たに管轄。
	第15分団	村山1区・村山2区・村山3区・粟倉1区・粟倉2区・粟倉3区・粟倉4区 粟倉南区・舟久保区	
第4方面隊	第16分団	山宮1区・山宮2区・山宮3区・山宮4区	
	第17分団	北山1区・北山2区・北山3区・北山4区	
	第18分団	上条上区・上条下区・馬見塚区	
	第19分団	下条上区・下条下区・精進川上区・精進川下区	
第5方面隊	第20分団	上井出区・芝山区・人穴区	
	第21分団	猪之頭区・麓区・根原区・富士丘区	
	第22分団	内野区・原区・半野区・狩宿区	
第6方面隊	第23分団	大鹿窪区・猫沢区・明光台区・上柚野区・下柚野区・鳥並区	
	第24分団	上稲子区・下稲子区	分団の統合(3班制)
	第25分団	内房第3区・内房第4区	
	第26分団	内房第1区・内房第2区	
	第27分団	長貫区・上羽鮒区・下羽鮒区・稗久保区・香葉台区	
	第28分団	西山区・大久保区	



富士宮市消防団組織再編個別計画  
令和 年 月策定  
富士宮市消防本部警防救急課